

令和4年度(2022年度)
第75回岩手芸術祭記録集



第75回岩手芸術祭実行委員会

R5.3.31

< 目次 >

1	総合フェスティバル	1
2	美術展	2
3	巡回美術展	2
4	小・中学校美術展	3
5	巡回小・中学校美術展	3
6	舞台等部門(演劇・伝統芸能・音楽・舞踊・演芸)／出演者公募	3
7	県民文芸作品集	5
8	文芸祭	5
9	移動公演	6
10	テーマ募集	6
11	関連事業『アートフェスタいわて2022 -岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展＋岩手県美術選奨受賞者作品展-』	6
12	三賞受賞者一覧 (美術展、小・中学校美術展、ピアノ演奏会、県民文芸作品集、文芸祭)	7
13	審査員・選者等一覧(美術部門、舞台等部門、文芸部門)	12
14	実行委員会委員一覧	16
15	開催状況一覧	18
16	市町村別応募作品数一覧(美術、県民文芸作品集)	20
17	収支予算書(最終予算)	22
18	芸術祭賞受賞作品(美術、小・中学校美術)	23
19	印刷物デザイン (総合ポスター、美術展ポスター、県民文芸作品集装丁)	27
資料		
(1)	開催要綱	29
(2)	実行委員会会則	31
(3)	運営組織	33
(4)	美術部門実行委員会運営規程	34
(5)	実行委員会感謝状贈呈に関する規程・選考基準	35
(6)	協賛事業の名義の使用承認事務手続要領	37
(7)	美術展公募要項	41
(8)	県民文芸作品集第53集公募要項	43
(9)	文芸祭開催要項	44
(10)	声楽部門演奏会出演者公募要項	45
(11)	ピアノ演奏会出演者公募要項	46
(12)	小・中学校美術展作品募集要項	47

1 総合フェスティバル

(1) 【盛岡開催】

1 開催日	10月1日(土)
2 会場	岩手県民会館／大ホール
3 鑑賞者数	3,663 人 (舞台公演1,400人、映像配信2,263人)
4 内容等	テーマ／「継承・創造・平和一祝って、いわて」 <第1部> ○「合唱・さとうきび畑」(県立不来方高校音楽部)○クラシックバレエ(洋舞)○「恵比寿舞」(鶴鳥神楽保存会)○ヒップホップダンス(水沢SC)○「津軽よされ節」「松づくし」(民謡) <第2部> ○式典「感謝のセレモニー」(功労者表彰参照) <第3部> ○「三重唱・啄木短歌集より」(声楽)○特別企画「佐藤彦大とスプリングハーモニージュニアオーケストラ・ベートーベンピアノ協奏曲第5番『皇帝』第1楽章」○フィナーレ「合唱・くちびるに歌を」(県立不来方高校音楽部)
5 功労者表彰	美術部門…… 佐賀勝美(洋画)・津志田沙苑(書道)・菊池克美(写真) 舞台等部门… 柴内千雅(華道)・鈴木靖子(合唱)・及川祐子(民謡) 文芸部門…… 齋藤英明(児童文学)・岡田紘子(短歌)・白濱一羊(俳句)
6 その他	(関連事業)芸術体験イベント 10月1日(土)・2日(日)に盛岡市肴町アーケード及び岩手県民会館を会場に三味線体験、バス絵画コンクール応募作品展、茶道体験、俳句体験などの芸術体験イベントを開催した。また、美術展開催に併せて展示室において、日本画・版画・水墨画の体験コーナーを設けた。体験イベントの参加者は延べ6,297人であった。

(2) 【地域開催】

地域における鑑賞機会の提供や地域の文化催事と連携した事業として、芸術体験イベント、舞台公演及び巡回美術展を開催した。

1 開催日	令和5年1月21日(金)～25日(水)
2 会場	奥州市文化会館Zホール
3 鑑賞者数	1,818 人 (体験イベント618人、舞台公演1,200人)/*美術展499人
4 内容等	○芸術体験フェスタ:5年1月21日(土) 伝統工芸づくり/美術作品づくり/華道茶道/昔遊びなつかし/伝統楽器/伝統芸能/ワークショップ ○芸術体験フェスタin奥州(舞台公演):5年1月22日(日) 不来方高校音楽部/黒沢智子バレエ/小田代神楽/金津流梁川こども獅子躍/南部千代連/川西大念仏剣舞/カラーガードチームarbre/盛岡チアダンスクラブ煌/前沢一輪車クラブアルスノーバ/松井亜希/佐藤陽十/Zホール児童合唱団ほか ○巡回美術展:5年1月21日(金)～25日(日) *次頁に再掲

2 美術展

岩手県内在住者及び県出身者等の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

(1) 作品搬入・受付・審査

日 程		作品審査	点数	
作品搬入・受付	9月10日(土)	岩手県民会館	応募点数	696点
作品審査	9月11日(日)		入賞・入選作品数	662点

(2) 美術展会期・会場

会 期		展示種目	会 場	鑑賞者数	展示点数
第1期	10月1日(土)～4日(火)	工 芸 書 道	岩手県民会館 展示室	3,136人	入賞・入選 662点
第2期	10月13日(木)～16日(日)	日 本 画 版 画 水 墨 画			
第3期	10月20日(木)～23日(日)	写 真 デ ザ イン 現 代 美 術			審査員等 65点
第4期	10月27日(木)～30日(日)	洋 画 彫 刻			

(3) 表彰式

11月19日(土)サンセール盛岡において三賞及び部門賞受賞者の表彰式を行った。

3 巡回美術展

美術展の上位入賞作品77点を県内6市町で巡回展示した。(計16日間・6会場)

会期	会場	出展作品数			
11月19日(土)～20日(日)	一戸町コミュニティセンター	日 本 画	7点	洋 画	8点
12月3日(土)～4日(日)	久慈市文化会館	版 画	8点	彫 刻	6点
12月7日(水)～8日(木)	山田町中央公民館	工 芸	8点	書 道	8点
12月10日(土)～11日(日)	宮古市民文化会館	写 真	8点	デ ザ イン	8点
R5.1月20日(金)～25日(水) *1/24(火)は休館	奥州市文化会館Zホール	現代美術	8点	水 墨 画	8点
		計			77点
1月27日(金)～29日(日)	花巻市文化会館	鑑賞者数 1,279人			

4 小・中学校美術展

県内小学生の書写・絵画作品及び中学生の書道・美術作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

(1) 応募状況及び入賞者等

	小学校絵画	小学校書写	中学校美術	中学校書写	合計
応募点数	2,926点	1,896点	468点	1,046点	6,336点
応募学校数	41校	63校	16校	33校	153校
入賞者数	42点	39点	8点	10点	99点
入選者数	424人	464人	111人	218人	1,217人
入選のうち巡回展出品数	36点	96点	14点	80点	226点

(2) 小・中学校美術展会期・会場

会期	会場	鑑賞者数	展示点数
12月2日(金)～4日(日)	岩手県民会館展示室	2,581人	1,316点

5 巡回小・中学校美術展

小・中学校美術展におけるすべての入賞作品と入選作品の中から巡回用に選定した作品を、県内各地で巡回展示した。

会期	会場	入場者	展示点数
R5.1月21日(土)～22日(日)	久慈市文化会館	623人	小学校絵画 78点
1月28日(土)～29日(日)	宮古市民文化会館		小学校書写 135点
2月11日(土)～12日(日)	九戸村公民館		中学校美術 22点
			中学校書写 90点
			計 325点

6 舞台等部門

事業名	開催日	実施団体	会場	鑑賞者数	
演劇	盛岡地区	R5.1月28日(土)～29日(日)	岩手県演劇協会(劇団しばいぬ)	風のスタジオ	98人
	県南地区	—			—
	沿岸地区	R5.2月19日(日)	岩手県演劇協会(劇団もしよこむ)	陸前高田市コミュニティホール・シンガポールホール	100人
	県北地区	11月27日(日)	岩手県演劇協会(二戸演劇協会The雲人)	二戸市民文化会館大ホール	210人
	市町村民劇場	R5.1月28日(土)～29日(日)	岩手県演劇協会(みやこ市民劇ファクトリー)	宮古市民文化会館中ホール	230人
	映像フェスティバル	R5.2月4日(土)	岩手映像サロン	もりおか町家物語館 浜藤ホール	20人

事業名	開催日	実施団体	会場	鑑賞者数
華道展	10月7日(金)~ 10日(月・祝)	岩手華道協会	岩手県民会館 展示室	1,421人
茶会	10月2日(日)	岩手県茶道協会	盛岡市中央公民館	647人
吟詠剣詩舞道祭	—			—
謡と仕舞の会	11月6日(日)	岩手県能楽連合会	岩手県民会館 中ホール	90人
邦楽のつどい	11月20日(日)	岩手邦楽協会	岩手県民会館 中ホール	279人
ソロと室内楽の調べ	10月9日(日)	岩手県弦楽研究会	岩手県民会館 中ホール	156人
ピアノ演奏会	10月24日(土)	岩手県ピアノ音楽協会	岩手県民会館 中ホール	230人
三曲演奏会	10月23日(日)	岩手三曲協会	岩手県民会館 大ホール	357人
声楽部門演奏会	11月5日(土)	岩手声楽研究会	岩手県民会館 中ホール	338人
ギター音楽の夕べ	11月19日(土)	岩手県ギター協会	岩手県民会館 中ホール	124人
吹奏楽演奏会	11月23日(水)	岩手県吹奏楽連盟	盛岡市都南文化会館 大ホール	370人
合唱祭	12月4日(日)	岩手県合唱連盟	岩手県民会館 大ホール	1,110人
管弦楽フェスティバル	11月27日(日)	岩手県管弦楽連盟	岩手県民会館 大ホール	150人
洋舞公演	10月16日(日)	岩手県洋舞協会	岩手県民会館 大ホール	837人
日本舞踊公演	11月13日(日)	岩手県邦舞協会	岩手県民会館 大ホール	1,000人
新舞踊発表会	11月20日(日)	岩手県新舞踊協会	花巻市文化会館 大ホール	685人
岩手民謡まつり	11月6日(日)	岩手県民謡協会	岩手県民会館 大ホール	700人
			計	9,152人

【出演者公募】

(1) 声楽演奏会 7名

(2) ピアノ演奏会 出演者21名

芸術祭賞 井上綾子(盛岡市)

審査員特別賞 青木みのり(盛岡市)

7 県民文芸作品集

岩手県内在住者及び県出身者等から、小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳の9種目の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を決定した。

入賞作品及び入選作品の一部を掲載した県民文芸作品集第53集を刊行した。

(1) 応募作品・受賞点数及び掲載作品数

応募作品数	掲載点数	受賞点数	刊行日
401点	117点	芸術祭賞 8点 優秀賞 10点 奨励賞 14点	12月9日(金)

(2) 表彰式

12月11日(日)サンセール盛岡において三賞受賞者の表彰式を行った。

8 文芸祭

部門	開催日/会場	内容	参加者数
小説	10月15日(土)	小説大会 県民文芸作品集の講評	8人
	岩手県民会館会議室		
戯曲	R5.2月19日(日)	ベロ・シモンズ戯曲・演出ワークショップ 「そこが足らんティーノ」	14人
	盛岡劇場ミニホール		
文芸評論	10月10日(月)	小講演 「啄木と賢治～国際啄木学会の現状と宮澤トシ没後100年記念行事を中心として～」望月善次「宮沢賢治とウクライナ」牛崎敏哉 研究発表 斯波哲矢/内藤賢一/岩井光和/和久井洋子	9人
	岩手県民会館会議室		
随筆	10月29日(土)	随筆大会 県民文芸作品集の講評	11人
	岩手県民会館会議室		
児童文学	10月29日(土)	児童文学大会 ①県民文芸作品集応募作品の選評 ②合評会	53人
	イーストピアみやこ		
詩	10月22日(土)	詩の大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか	11人
	北上市生涯学習センター		
短歌	10月8日(土)	短歌大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞	117人
	盛岡市勤労福祉会館		
俳句	10月15日(土)	俳句大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、各選者賞	51人
	盛岡市勤労福祉会館		
川柳	10月22日(土)	川柳大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞ほか	62人
	アイーナ(盛岡市)		
計			336人

9 移動公演

開催地	種目	開催日	出演団体	会場	鑑賞者数
岩泉町	民謡	R5.1月28日(土)	岩手県新舞踊協会	岩泉町民会館	183人
一戸町	新舞踊	12月3日(土)	岩手県新舞踊協会	一戸町コミュニティセンター	62人
計					245人

10 テーマ募集

応募期間	令和4年 3月～ 5月		
応募総数	355点	応募者数	126人
選定方法	6月2日に各部門から任意に選出された選定委員6人により選定委員会を開催し、優秀作1点と佳作4点を選んだ。		
選定委員	柴田和子(実行委員会会長)・高橋嘉行(県文振理事長)・清武英司(彫刻)・丸岡千奈美(声楽)・田口博子(管弦楽)・野中康行(随筆)		
表彰	10月1日(土)の開幕式典において優秀作作者を表彰		

【優秀作】 岩手芸術祭テーマ

「共に創る 岩手の芸術 そして生まれる みんなの笑顔」 佐藤 遙音(奥州市)

【佳作】

「いわての芸術 美の創造 感動発見」 熊谷 幸平(一関市)

「繋ごう 岩手の芸術を 創ろう 未来の輝きを」 藤田 未麗(北上市)

「みんなでつなぐ 岩手の心 心でつなぐ 岩手の芸術」 佐藤 凜音(盛岡市)

「岩手が創る 新たな未来 芸術が拓く 無限の可能性」 川井 葵(盛岡市)

11 関連事業『アートフェスタいわて2022

—岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展+岩手県美術選奨受賞者作品展—

(岩手県立美術館・岩手芸術祭実行委員会共催事業)

岩手芸術祭美術展の三賞及び美術展各部門から推薦された作家の作品100点と岩手県美術選奨受賞作家の作品をあわせて公開する企画展を実施。

会期	2月25日(土)～3月19日(日)		出品点数			
会場	岩手県立美術館		日本画	7点	洋画	17点
鑑賞者数	3,042人		版画	7点	彫刻	7点
ギャラリー トーク	3月4日(土)	書道・水墨画	工芸	9点	書道	17点
	3月5日(日)	写真・デザイン・現代美術	写真	12点	デザイン	7点
	3月11日(土)	彫刻・日本画・工芸	現代美術	6点	水墨画	11点
	3月12日(日)	版画・洋画	計		100点	

12 第75回岩手芸術祭三賞受賞者一覧

【美術展】

種目	賞名	作品名	氏名	居住地
日本画	芸術祭賞	姥百合	藤原 妙子	矢巾町
	優秀賞	涼風いたる	吉原 恭子	花巻市
	奨励賞	秋の彩	村上 和広	一関市
	奨励賞	渚清く	菅田 美世子	山田町
洋画	芸術祭賞	早春の川船	荻原 國昭	一関市
	優秀賞	海路日和	山内 峯男	宮古市
	奨励賞	我	佐藤 榮一	二戸市
	奨励賞	Love Song	菅原 恭子	紫波町
版画	芸術祭賞	滅びない・寵幸(五十九)	浅倉 伸	盛岡市
	優秀賞	ふるさとのまち八幡平市202103	中村 文子	盛岡市
	奨励賞	時の流れ絶えずして	小野寺 花佳	宮城県
	奨励賞	yama ga aru tokoro	瀬川 はるひ	奥州市
彫刻	芸術祭賞	哲学者	黒沼 令	福島県
	優秀賞	vine・2022	八重 檉 篤	雫石町
	奨励賞	女性頭像2022	黒沼 加津己	盛岡市
	奨励賞	Reunion	菅原 睦	盛岡市
工芸	芸術祭賞	ウレラⅢ	村木 茂	紫波町
	優秀賞	鉄瓶「波紋」	大村 敏宏	盛岡市
	奨励賞	青	高橋 由美	花巻市
	奨励賞	海の秋、十六夜の舟を曳いて	昆野 明栄	遠野市
書道	芸術祭賞	よさの海の	千葉 溪萌	盛岡市
	優秀賞	白楽天詩四首	小野寺 七海	一関市
	奨励賞	白楽天詩	川下 子鳳	紫波町
	奨励賞	秋の田の	丸山 篁香	滝沢市
写真	芸術祭賞	とったぞー!	遠藤 顕一	釜石市
	優秀賞	遠ざかる海	武藤 章	宮古市
	奨励賞	「賢治先生の庭」	佐藤 賢悦	盛岡市
	奨励賞	ニューフェイス	木村 明子	釜石市
デザイン	芸術祭賞	食の彩り。	佐々木海太郎	盛岡市
	優秀賞	input/output	高橋 美枝	花巻市
	奨励賞	疫病退散 歌舞伎十八番 暫・除災招福 碁盤忠信	佐々木海太郎	盛岡市
	奨励賞	融雪	竹内 蒼	盛岡市
現代美術	芸術祭賞	糾える	菊池 麻衣	花巻市
	優秀賞	シロツメクサの花が咲いたら	高田 いおり	盛岡市
	奨励賞	追憶	遠藤 昭子	北上市
	奨励賞	Peaceful Time 03:33	加村 なつえ	盛岡市
水墨画	芸術祭賞	安代の滝	谷村 キヌ子	盛岡市
	優秀賞	朝霧の南昌山	渡邊 力	盛岡市
	奨励賞	霧の山間	北村 義美	盛岡市
	奨励賞	宗松寺参道	穴戸 武英	一関市

【小・中学校美術展】

Ⅰ 小学校

	小学校絵画部門		小学校書写部門	
芸術祭賞	小倉悠人	仙北小 2	佐々木芽生	鵜飼小 2
	大友日菜詩	北上・南小 4	柳谷歩希	鵜飼小 4
	佐々木紗良	津志田小 5	柳谷祐希	鵜飼小 6
優秀賞	金光寺葵	仙北小 1	浅沼想乃	盛岡・土淵小 1
	村田こころ	盛岡・土淵小 1	佐藤紅羽	青山小 1
	星野亮	北上・南小 1	海道麻佑	向中野小 1
	三浦紅	仙北小 2	玉山浩志	山王小 2
	齊藤智悠	高松小 2	古川明莉	向中野小 2
	佐藤葵依	岩大附属小 2	佐藤愛理	滝沢中央小 2
	小柳啓佑	仙北小 3	中村伊都	仁王小 3
	川村勇人	盛岡・中野小 3	宮野夏帆	青山小 3
	和野桜々禰	緑が丘小 3	佐藤開	岩大附属小 3
	小坂蒼侑	盛岡・中野小 4	堀越りんか	山岸小 4
	幅野朱音	新堀小 4	柏谷綾香	月が丘小 4
	吉田蒼	常盤小 4	赤坂ひかり	岩大附属小 4
	山口倅	厨川小 5	八重樫翔	盛岡・土淵小 5
	柏田幸梓	厨川小 5	川上仁愛	双葉小 5
	遠藤夢月	盛岡・土淵小 5	村上絢	大槌学園 5
	西川結咲	厨川小 6	耕野玲奈	鵜飼小 6
	星紗綾	上田小 6	古舘杏梨	岩大附属小 6
遠藤結	大新小 6	中嶋花	奥中山小 6	
奨励賞	熊谷未莉	北厨川小 1	宮川菜花	向中野小 1
	涌井崇成	上田小 1	石母田凜	岩大附属小 1
	箱石栞奈	手代森小 1	菊池圭佑	岩大附属小 1
	佐々木湊太	新堀小 1	佐藤杏香	桜城小 2
	谷地優杏	盛岡・土淵小 2	佐藤小春	盛岡・中野小 2
	菊池咲	高松小 2	長谷部瑛太	城北小 2
	小野寺晴子	杜陵小 2	乙部結生	城北小 3
	檜原有翔	北厨川小 3	立花柚希	大新小 3
	本田結蘭	緑が丘小 3	古舘暁	岩大附属小 3
	志村央人	羽場小 3	松田隼輔	城南小 4
	千葉朱莉	巻堀小 3	小田愛	古舘小 4
	甲地充樹	盛岡・中野小 4	三浦陽夏梨	沼宮内小 4
	田村凜果	盛岡・土淵小 4	佐藤遙佳	山岸小 5
	松本健吾	緑が丘小 4	花坂瑚子	渋民小 5

	小学校絵画部門				小学校書写部門			
奨励賞	土井莉央	厨川小5	佐藤雅大	鶴住居小5				
	佐藤陽斗	厨川小5	北田莉央	青山小6				
	佐藤こころ	高松小5	森本理沙	高松小6				
	折祖千幸	厨川小6	稲葉美悠	向中野小6				
	貴志央介	大新小6						
	倉堀悠	大新小6						
	大平ひかる	花巻小6						

2 中学校

	美術			
芸術祭賞	川上葉乃	岩大附属中2		
	千葉寧々	下橋中3		
優秀賞	成田圭織	岩大附属中1		
	遠藤志歩	桜町中2		
	森口心晴	見前南中3		
奨励賞	小岩礼	岩大附属中1		
	板垣菜々	岩大附属中2		
	葉澤泉月	岩大附属中3		

	書写							
	毛筆条幅入賞				毛筆半紙入賞			
芸術祭賞	葛巻綾	下小路中3	渡辺果歩	岩大附属中3				
優秀賞	柳谷咲希	滝沢南中2	渡辺菜月	岩大附属中1				
			赤坂洸理	岩大附属中2				
			横澤希和	見前中3				
奨励賞	福士結衣	沼宮内中1	玉井瞭平	滝沢第二中2				
	小野みらい	沼宮内中2						
	細野ひなの	盛岡・河南中3						

【ピアノ演奏会】

	氏名	居住地
芸術祭賞	井上綾子	盛岡市
審査員特別賞	青木みのり	盛岡市

【県民文芸作品集】

種 目	賞 名	作 品 名	氏 名	居住地
小 説	芸 術 祭 賞	ライバル	神 山 千 之	盛岡市
	優 秀 賞	古い二人	福 島 敬 次 郎	盛岡市
	奨 励 賞	黒い波	汐 見 遥	久慈市
	奨 励 賞	母のハンカチ	佐々木悠紀子	盛岡市
戯曲・ シリオ	芸 術 祭 賞	私の青春の邪魔をするな	伊 丹 鉄 塔	久慈市
	優 秀 賞	龍昇	劇 団 地 底 人	二戸市
	奨 励 賞	該当作なし	—	—
文 芸 評 論	芸 術 祭 賞	森有正「ドストエーフスキー覚書」についての一考察-「邂逅」をめぐる-	和 久 井 洋 子	盛岡市
	優 秀 賞	「チュンセとポーセの物語」を読む	岩 井 光 和	滝沢市
	優 秀 賞	啄木と藤村-「なつかしい人」から-	内 藤 賢 一	盛岡市
	奨 励 賞	該当作なし	—	—
随 筆	芸 術 祭 賞	心の癒し所	安 倍 洋 子	奥州市
	優 秀 賞	生きがい	横 手 裕 美 子	盛岡市
	奨 励 賞	二つの夏	田 村 敦 子	花巻市
	奨 励 賞	山を上げば	山 口 た か え	盛岡市
児 童 文 学	芸 術 祭 賞	ホライトドラゴン	汐 見 遥	久慈市
	優 秀 賞	動物たちの箱根駅伝	佐 々 木 実	八幡平市
	奨 励 賞	村への旅	本 堂 裕 美 子	宮古市
	奨 励 賞	悠太とカモ	内 藤 賢 一	盛岡市
詩	芸 術 祭 賞	秋	安 部 勝 衛	花巻市
	優 秀 賞	静けさや	阿 部 芳 久	宮城県
	奨 励 賞	川辺にて	い な 野 み ず ほ	滝沢市
	奨 励 賞	夜のカラス	中 森 都 志 子	盛岡市
短 歌	芸 術 祭 賞	該当作なし	—	—
	優 秀 賞	庭	阿 部 スミ子	奥州市
	奨 励 賞	白きエプロン	沼 宮 内 凌 子	盛岡市
	奨 励 賞	妻在りて	羽 藤 堯	奥州市
俳 句	芸 術 祭 賞	下北の秋	兼 平 玲 子	盛岡市
	優 秀 賞	焼走りの熔岩(らば)	木 関 偕 楽	盛岡市
	奨 励 賞	送り火	岡 部 玄 治	盛岡市
	奨 励 賞	黄水仙	岩 渕 洋 子	平泉町
川 柳	芸 術 祭 賞	雑詠	澤 瀬 海 山	久慈市
	優 秀 賞	雑詠	あ べ 和 香	花巻市
	奨 励 賞	雑詠	小 原 金 吾	盛岡市
	奨 励 賞	雑詠	野 口 一 滴	洋野町

【文芸祭】

部門	賞名	作品名等	氏名	居住地
詩	文芸祭賞	該当なし	—	—
	優秀賞	祈り	金野清人	盛岡市
	奨励賞	呱呱のうた	角田陽子	埼玉県
短歌	文芸祭賞	穂ばらみの稲田を照らす今日の月戦ひの地に移りて行くや	青木綱子	奥州市
	優秀賞	記念館の桂さやさやと光る庭原敬講座ききて帰り来	照井方子	盛岡市
	奨励賞	ベトナムの介護士も踊る「なにゃとやら」けふは施設の夕涼み会	下又治代	二戸市
	選者賞 (赤澤篤司選)	わが母の逝きし病院の跡に建つ大型店の賑はひにゐる	赤平せつ子	北上市
	(折居路子選)	ふく風の強さはかりて幼子は栗を拾ひに走りてゆきぬ	藤井永子	盛岡市
	(神原猛選)	ミズーリ号の船腹深く抉りたる特攻兵の無惨を見たり	小野寺ヨシ子	一関市
	(清水亞彦選)	三斤の麻にみたてし服を身につけをれば我が心を見つむ	佐々木千紗子	盛岡市
(吉田史子選)	夕映えの樹脂がとろりと伸びてきていつか琥珀になるきみの声	ネコノカナエ	久慈市	
川柳	文芸祭賞	踏まないで平和がそこに芽生えてる	小田治朗	花巻市
	優秀賞	合掌の手の中にあるほつれ糸	北川拓治	岡山県
	奨励賞	祈りの掌ひまわり愛でる国へ向く	あべ和香	花巻市
	特選 (野口一滴選)	万物のいのちを焦がす大落暉	柳清水 広作	洋野町
	(山田美鈴選)	祈りの掌ひまわり愛でる国へ向く	あべ和香	花巻市
	(鷹背間雄選)	悔しいがやっぱり母の言うとおりに	山田松子	洋野町
	(中島久光選)	素晴らしい実りを妻よありがとう	野口一滴	洋野町
	(あべ和香選)	合掌の手の中にあるほつれ糸	北川拓治	岡山県
	(佐藤康選)	休耕地オロオロ賢治の影がある	宮野裕	花巻市
(熊谷岳朗選)	踏まないで平和がそこに芽生えてる	小田治朗	花巻市	

13 第75回岩手芸術祭審査員・選者等一覧

【美術部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
日 本 画	土 井 宏 太 郎	日本画家
	片 山 道 子	岩手県日本画協会理事
	花 立 ゆ か り	岩手県日本画協会理事
洋 画	小 野 寺 豊 喜	洋画部門理事
	齋 藤 千 香 子	洋画部門理事
	白 藤 茂	洋画部門理事
	千 菅 浩 信	洋画部門理事
	辻 齊 一	洋画部門理事
	西 村 和 明	洋画部門理事
	日 下 信 介	洋画部門理事
	舞 田 信 也	洋画部門理事
山 本 淑 子	洋画部門理事	
版 画	阿 部 陽 子	版画家
	田 村 晴 樹	画家
彫 刻	平 澤 広	萬鉄五郎記念美術館館長
工 芸	赤 堀 郁 彦	日展特別会員
	菊 池 房 江	岩手工芸美術協会会長
書 道	吉 田 晨 風	岩手書道協会会長
	野 田 杏 苑	岩手書道協会副会長
	澤 藤 華 星	岩手書道協会副会長
	津 志 田 沙 苑	岩手書道協会参与
	佐々木 飛 鴻	岩手書道協会理事
	佐 竹 松 濤	岩手書道協会理事
	丸 若 敬 葉	岩手書道協会理事
写 真	ハ ー ビ ー ・ 山 口	写真家
デ ザ イ ン	本 村 健 太	岩手大学人文社会科学部教授
	竹 村 育 貴	岩手デザイナー協会会長
	海 之 尚	盛岡ロータリークラブ会長[B部門]
現 代 美 術	佐 藤 時 啓	東京藝術大学美術学部教授
水 墨 画	菊 池 一 政	岩手県水墨画協会会長
	岸 本 カ ヨ 子	岩手県水墨画協会副会長
	阿 部 慶 造	岩手県水墨画協会副会長
	工 藤 晴 男	岩手県水墨画協会副会長
	清 水 恒 男	岩手県水墨画協会機関紙部長

【舞台等部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
ピ ア ノ	佐 々 木 素	ピアニスト
	松 岡 淳	昭和音楽大学講師・ピアニスト
	赤 松 林 太 郎	大阪音楽大学准教授・ピアニスト

【文芸部門選者】

県民文芸作品集	
小 説	大 平 し お り
	村 井 直 衛
戯曲・シナリオ	昆 明 男
	落 合 昭 彦
文 芸 評 論	望 月 善 次
	牛 崎 敏 哉
随 筆	須 藤 宏 明
	野 中 康 行
児 童 文 学	千 葉 留 里 子
	藤 原 成 子
詩	東 野 正
	菊 池 唯 子
	兒 玉 智 江
短 歌	伊 藤 淑 子
	稲 垣 貞 男
	岡 田 紘 子
	酒 井 久 男
	松 田 久 恵
俳 句	白 濱 一 羊
	小 畑 柚 流
	小 林 輝 子
	名 久 井 清 流
	津 志 田 武
川 柳	熊 谷 岳 朗
	河 野 康 夫
	中 野 裕 子

文 芸 祭	
詩	東 野 正
	菊 池 唯 子
	兒 玉 智 江
短 歌	赤 澤 篤 司
	折 居 路 子
	神 原 猛
	清 水 亞 彦
	吉 田 史 子
俳 句	白 濱 一 羊
	小 畑 柚 流
	小 林 輝 子
	名 久 井 清 流
	津 志 田 武
川 柳	野 口 一 滴
	山 田 美 鈴
	鷹 背 閱 雄
	中 島 久 光
	あ べ 和 香
	佐 藤 康
	熊 谷 岳 朗

【文芸部門文芸祭講師】

種 目	氏 名	備 考
小 説	立 川 ゆ か り	県民文芸作品集選者
	小 原 守 夫	〃
戯 曲・シナリオ	ベ ロ・シ モ ン ズ	ボーイズドレッシング主宰
文 芸 評 論	牛 崎 敏 哉	作品集選者/実行委員
	望 月 善 次	〃
随 筆	須 藤 宏 明	作品集選者
	野 中 康 行	〃 /実行委員

14 第75回岩手芸術祭実行委員会委員一覧

区 分		氏 名	摘 要	
主 催 者		阿 部 美 登 利	岩手県文化スポーツ部 文化振興課総括課長	
		石 田 知 子	【副会長】 岩手県文化振興事業団理事長	
		柴 田 和 子	【実行委員会会長】 岩手県芸術文化協会会長	
		藤 沢 清 美	岩手県芸術文化協会副会長	
美術部門	彫 刻	清 武 英 司		
	工 芸	阿 部 裕 之		
舞 台 等 部 門	演 劇		大 森 健 一	
	伝 統 芸 能	華 道	中 村 素 瑠	
		吟 剣 詩 舞	金 沢 岳 貞	
	音 楽	合 唱	村 松 玲 子	
		ピ ア ノ	千 葉 浩 子	【監事】
		ギ タ ー	橋 本 博 行	
		管 弦 楽	寺 崎 巖	
	舞 踊	洋 舞	大 沼 ま ゆ み	
		日 舞	若 柳 衣 江	
	演 芸	民 謡	山 上 衛	
文 芸 部 門	詩	菊 池 唯 子		
	短 歌	赤 澤 篤 司	【監事】	
小・中学校美術展		吉 田 充	雫石町立雫石小学校	
地 域		廣 野 次 雄	【副会長】 奥州市芸術文化協会会長	
		河 東 眞 澄	釜石市芸術文化協会会長	

【美術部門実行委員会】

日本画	西川善有	工芸	阿部裕之	デザイン	竹村育貴
	花立ゆかり		竹田康夫		吉田康則
洋画	石川西三	書道	吉田晨風	現代美術	小笠原卓雄
	岩淵毅弘		熊谷碓斗		浅倉伸
版画	日山登啓	写真	井手清和	水墨画	菊池一政
	鈴木和雄		松本尚子		北村義美
彫刻	清武英司				
	曾根達也				

【舞台等部門実行委員会】

演劇	大森健一	合唱	村松玲子	ギター	橋本博行
	鬼澤陽子		及川尚樹		佐藤勝政
能楽	佐藤宏明	声乐	昆野聡朗	管弦楽	寺崎巖
	菊池昭二		丸岡千奈美		田口博子
邦楽	福士幸雄	弦楽	菊池昭子	洋舞	大沼まゆみ
	室岡提子		渡辺めぐみ		藤井淳子
茶道	鈴木宗基	三曲	高橋法聖	日舞	若柳吉聖
	平野宗		菊池捷山		若柳衣江
華道	中村素瑠	吹奏楽	安倍一洋	民謡	藤沢清美
	小原宏華		佐々木康德		山上衛
吟詠 詩舞道	立身岳元	ピアノ	千葉浩子	新舞踊	高橋トシ
	金沢岳貞		成瀬ゆかり		鈴木孝四郎

【文芸部門実行委員会】

戯曲	昆明男	詩	松崎みき子	俳句	山火律子
	倉持裕幸		兒玉智江		四戸美佐子
文芸 評論	望月善次	短歌	菊池唯子	川柳	四日市洋子
	牛崎敏哉		山本豊		熊谷岳朗
随筆	野中康行		外館克裕		小原金吾
児童 文学	千葉留里子		赤澤篤司		伊藤豊志
	佐々木喜久子				
	加藤典夫				

【実行委員会事務局】

事務局長	平野信二	岩手県文化振興事業団 事務局長
事務局次長	佐々木仁志	岩手県芸術文化協会 事務局長
	工藤啓一郎	岩手県文化振興事業団総務部 総務課長
事務局員	藤井公博	岩手県文化スポーツ部文化振興課
	吉田秀幸	岩手県文化振興事業団総務部総務課
	千葉達也	//
	猿橋幸子	//
	晴山美香子	//
	鈴木宣子	//
	川村光	//
	岩崎桂子	岩手県芸術文化協会

15 第75回岩手芸術祭開催状況

事業名		期 日	会 場	入場料金	入場者数
開幕式典・総合フェスティバル		10月1日(土)	岩手県民会館／大ホール	無料	3,663人
芸術体験イベント		R5.1月22日(日)	奥州市文化会館Zホール	無料	1,818人
美 術 展	1期 工芸／書道	10月1日(土)～10月4日(火)	岩手県民会館／展示室	高校生以下無料	3,136人
	2期 日本画／版画 ／水墨画	10月13日(木)～10月16日(日)			
	3期 写真／デザイン ／現代美術	10月20日(木)～10月23日(日)			
	4期 洋画／彫刻	10月27日(木)～10月30日(日)			
巡 回 美 術 展	美術展入賞作品(77点)	11月19日(土)～11月20日(日)	一戸町コミュニティセンター	無料	1,279人
		12月3日(土)～12月4日(日)	久慈市文化会館アンバーホール		
		12月7日(水)～12月8日(日)	山田町中央公民館		
		12月10日(土)～12月11日(日)	宮古市民文化会館		
		R5.1月20(金)～1月25日(水)	奥州市文化会館Zホール		
		R5.1月27日(金)～1月29日(日)	花巻市文化会館		
小・中 学 校 美術展	小・中学校書写、絵画	12月2日(金)～12月4日(日)	岩手県民会館／展示室	無料	2,581人
巡 回 小・中 学 校 美術展	小・中学校美術展 入賞作品(325点)	R5.1月21日(土)～2月12日(日)	久慈市文化会館など3会場	無料	623人
演 劇	「The雲人」公演	11月27日(日)	二戸市民文化会館／大ホール	500円	210人
	「劇団しばいぬ」公演	R5.1月28日(土)～1月29日(日)	風のスタジオ(盛岡市)	1,500円	98人
	「みやこ市民劇」公演	R5.1月28日(土)～1月29日(日)	宮古市民文化会館／中ホール	1,000円	230人
	「劇団もしよこむ」公演	R5.2月19日(日)	陸前高田市コミュニティホール／シンガポールホール	1,000円	100人
	映像フェスティバル	R5.2月4日(土)	もりおか町家物語館	無料	20人
伝 統 芸 能	茶会	10月2日(日)	盛岡市中央公民館	3,300円	647人
	華道展	10月7日(金)～10日(月・祝)	岩手県民会館／展示室	無料	1,421人
	謡と仕舞の会	11月6日(日)	岩手県民会館／中ホール	無料	90人
	邦楽のつどい	11月20日(日)	岩手県民会館／中ホール	1,000円	279人
	吟詠剣詩舞道祭	中止			

事業名		期 日	会 場	入場料金	入場者数
音 楽	ソロと室内楽の調べ	10月9日(日)	岩手県民会館／中ホール	1,000円	156人
	三曲演奏会	10月23日(日)	岩手県民会館／大ホール	1,000円 中学生以下無料	357人
	ピアノ演奏会	10月30日(日)	岩手県民会館／中ホール	1,000円	230人
	声楽演奏会	11月5日(土)	岩手県民会館／中ホール	900円 中学生以下無料	338人
	ギター音楽の調べ	11月19日(土)～11月20日(日)	岩手県民会館／中ホール	700円(500円) 中学生以下300円	124人
	吹奏楽演奏会	11月23日(水・祝)	盛岡市都南文化会館／大ホール	1,000円(700円) 小学生以下無料	370人
	管弦楽フェスティバル	11月27日(日)	岩手県民会館／大ホール	無料	150人
	合唱祭	12月4日(日)	岩手県民会館／大ホール	1,500円(1,000円) 高校生以下1,000円	1,110人
舞 踊	ヤングバレエフェスティバル	10月16日(日)	岩手県民会館／大ホール	1,500円	837人
	日本舞踊公演	11月13日(日)	岩手県民会館／大ホール	2,500円	1,000人
演 芸	新舞踊発表会	11月20日(日)	花巻市文化会館／大ホール	2,000円(1,500円)	685人
	民謡まつり	11月6日(日)	岩手県民会館／大ホール	2,000円(1,500円) 高校生以下無料	700人
文 芸 祭	短歌大会	10月8日(土)	盛岡市勤労福祉会館	出詠1,000円(学生無料) 会費 500円	117人
	文芸評論大会	10月10日(月・祝)	岩手県民会館会議室	無料	9人
	小説大会	10月15日(土)	岩手県公会堂21号室	無料	8人
	俳句大会	10月15日(土)	盛岡市勤労福祉会館	資料代等1,500円	51人
	詩の大会	10月22日(土)	北上市生涯学習センター	1,000円	11人
	川柳大会	10月22日(土)	アイーナ・いわて県民情報交流センター(盛岡市)	2,000円	62人
	随筆大会	10月29日(土)	岩手県公会堂21号室	無料	11人
	児童文学大会	10月29日(土)	イーストピアみやこ	無料	53人
	戯曲大会	R5.2月19日(日)	盛岡市河南公民館／ミニホール	500円	14人
県民文芸作品集 第53集刊行		小説/戯曲・ソリオ/文芸評論/随筆/児童文学/詩/短歌/俳句/川柳		12月9日刊行	401人
移 動 公 演	新舞踊公演	12月3日(土)	一戸町コミュニティセンター	500円 高校生以下無料	62人
	民謡公演	R5.1月28日(土)	岩泉町民会館	無料	183人

※ 料金の()内は、
前売り料金

16 第75回岩手芸術祭市町村別応募作品数一覧

【美術部門】

	市町村	日本画	洋画	版画	彫刻	工芸	書道	写真	デザイン	現代美術	水墨画	計
盛岡	盛岡市	9	28	20	6	21	61	72	30	15	34	296
	八幡平市			1					1			2
	岩手町						1	2			1	4
	雫石町		3		1	2		1			3	10
	葛巻町		1					2				3
	滝沢市		3	1		1	13	5	3	2	5	33
	紫波町		3	2	1	3	14	4	4		2	33
	矢巾町	4	7	3	4	1	3	1		1	1	25
	小計	13	45	27	12	28	92	87	38	18	46	406
中部	花巻市	1	6	1		10	4	6	5	3	2	38
	遠野市		5	2		3	1	1		1		13
	北上市	1	9		4	4	3	3	4	3		31
	西和賀町											0
	小計	2	20	3	4	17	8	10	9	7	2	82
県南	奥州市	2	6	7	1	5	5	3	2	4		35
	金ヶ崎町								2			2
	一関市	1	9	1	1	1	5	1			10	29
	平泉町					1	1	1			1	4
	小計	3	15	8	2	7	11	5	4	4	11	70
沿岸南部	大船渡市						1			1	5	7
	陸前高田市						1					1
	住田町	2										2
	釜石市		17			1	3	5	2		1	29
	大槌町								2			2
	小計	2	17	0	0	1	5	5	4	1	6	41
宮古	宮古市	2	16	3		1	12	5		6	3	48
	山田町						1					1
	岩泉町							1				1
	田野畑村		1				1					2
	小計	2	17	3	0	1	14	6	0	6	3	52
県北	久慈市		6	1				7			1	15
	洋野町		1									1
	野田村		1									1
	普代村											0
	二戸市		3				4	1				8
	一戸町		2				1	2				5
	軽米町		1				1					2
	九戸村									1		1
	小計	0	14	1	0	0	6	10	0	1	1	33
県外		2	1	1	3	3	1			1	12	
合計	22	130	43	19	57	139	124	55	37	70	696	

【県民文芸作品集】

		小説	戯曲	文芸評論	随筆	児童文学	詩	短歌	俳句	川柳	計
盛岡	盛岡市	9	2	3	22	2	19	20	59	8	144
	八幡平市					1			2		3
	滝沢市	1		1	1	1	3	3	2		12
	岩手町	2				1				1	4
	雫石町								1		1
	葛巻町						4		1		5
	紫波町								3	3	6
	矢巾町								3	1	4
	小計	12	2	4	23	5	26	23	71	13	179
中部	花巻市				6	1	10	5	13	8	43
	遠野市				1			1		2	4
	北上市	1		1	3		2	4	16	1	28
	西和賀町								1		1
	小計	1	0	1	10	1	12	10	30	11	76
県南	奥州市	1			5			8	20	5	39
	金ヶ崎町								5		5
	一関市						2	3	7	2	14
	平泉町				1				2		3
	小計	1	0	0	6	0	2	11	34	7	61
沿岸南部	大船渡市				1		2		2		5
	陸前高田市							1	2	3	6
	住田町									1	1
	釜石市									1	1
	大槌町							1			1
	小計	0	0	0	1	0	2	2	4	5	14
宮古	宮古市				3	2	4	3	7	5	24
	山田町							1			1
	岩泉町							1			1
	田野畑村										0
	小計	0	0	0	3	2	4	5	7	5	26
県北	久慈市	1	1			1	3	2	5	2	15
	洋野町								1	4	5
	野田村										0
	普代村										0
	二戸市		1					1		1	3
	一戸町								1		1
	軽米町										0
	九戸村										0
	小計	1	2	0	0	1	3	3	7	7	24
県外	計		1			1	13	1	3	2	21
合計		15	5	5	43	10	62	55	156	50	401

※県外=青森県7、宮城県4、千葉県3、東京都5、神奈川県1、大阪府1

17 第75回岩手芸術祭実行委員会 収支予算書(最終予算)

1 収入の部

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
負担金	10,730	主催者、巡回展開催市町村
入場料収入	767	美術展入場料
諸収入	0	預金利息
繰越金	3,950	第74回会計より
合 計	15,447	

2 支出の部

(単位:千円)

科 目	予算額	主 な 内 容
実行委員会	2,022	功労者表彰、新聞広告、印刷物、感染症対策用品
美術展	2,636	賞金、印刷物、会場使用料、部門負担金
巡回美術展	2,139	写真パネル作成、作品輸送
小中学校美術展	380	小・中学校美術展協会負担金
巡回小中学校美術展	40	〃
演劇	545	部門負担金
伝統芸能	625	〃
音楽	1,260	〃
舞踊	780	〃
演芸	400	〃
移動公演	368	〃
県民文芸作品集	1,249	選者謝金、賞金、作品集買上
文芸祭	488	部門負担金
予備費	2,515	
合 計	15,447	

18 第75回岩手芸術祭芸術祭賞受賞作品
【美術展】



日本画「姥百合」藤原妙子(矢巾町)



洋画「早春の川船」荻原國昭(一関市)



彫刻「哲学者」黒沼 令(福島県)



版画「滅びない・寵幸(五十九)」浅倉 伸(盛岡市)



工芸「ウレラⅢ」村木 茂(紫波町)



写真「とったぞー!」遠藤顕一(釜石市)



書道「よさの海の」千葉溪萌（盛岡市）



デザイン「食の彩り。」佐々木海太郎（盛岡市）



水墨画「安代の滝」谷村キヌ子（盛岡市）



現代美術「糾える」菊池麻衣（花巻市）

【小・中学校美術展】

《小学校絵画》



「ぼくのピーマンのひみつきちのどうくつ」
盛岡市立仙北小学校 4年 小倉 悠人

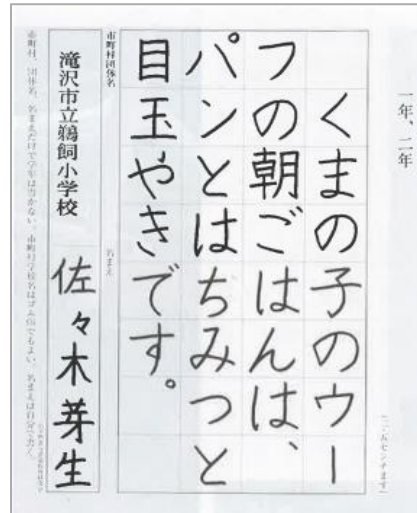


「金魚さん、こんにちは!」
北上市立南小学校 4年 大友 日菜詩



「小さな命でも」
盛岡市立津志田小学校 5年 佐々木 紗良

《小学校書写》



滝沢市立鶺鴒小学校
2年 佐々木 芽生

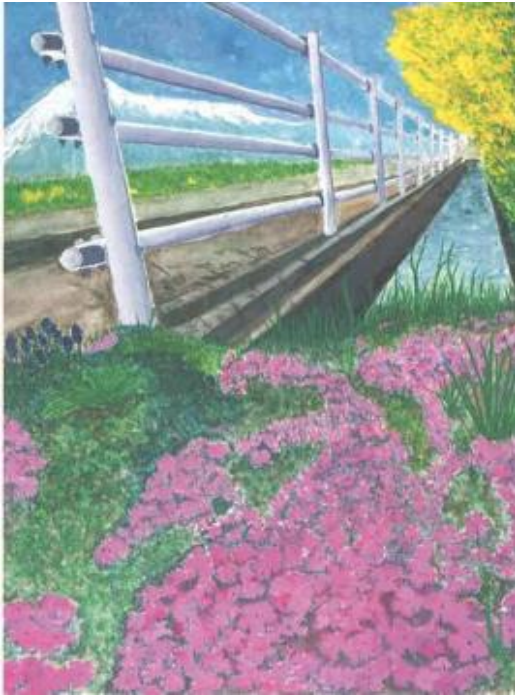


滝沢市立鶺鴒小学校
4年 柳谷 歩希



滝沢市立鶺鴒小学校
6年 柳谷 祐希

《中学校美術》



「春」

岩手大学教育学部附属中学校 2年 川上 葉乃



「春の光を追って」

盛岡市立下橋中学校 3年 千葉 寧々

《中学校書写》



盛岡市立下小路中学校
3年 葛巻 綾



岩手大学教育学部附属中学校
3年 渡辺 果歩

19 印刷物デザイン

【総合ポスター】 デザイン／佐々木 海太郎 (岩手デザイナー協会)

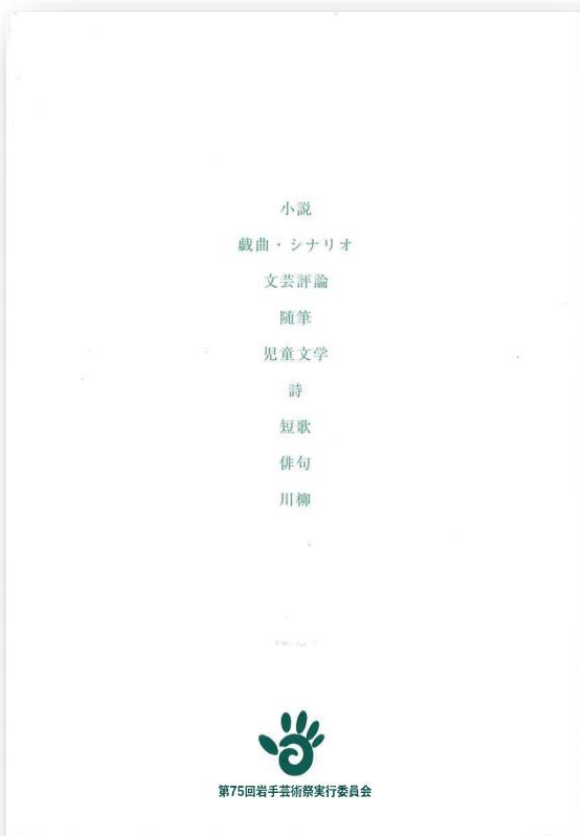


【美術展ポスター】 デザイン／佐々木 優子 (岩手デザイナー協会)





(表)



(裏)

令和4年度(2022年度)
第75回岩手芸術祭記録集

資 料



第75回岩手芸術祭実行委員会

R5.3.31

(1)第75回岩手芸術祭開催要綱

1 趣旨

県民の優れた芸術文化活動の成果を発表し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、本県芸術文化の創造と発展に寄与するとともに、豊かな県民性の高揚に資する。

2 名称 第75回岩手芸術祭

3 主催 岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会
岩手日報社 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ
岩手朝日テレビ エフエム岩手

4 後援 盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社

5 運営 第75回岩手芸術祭実行委員会

6 期間 令和4年10月～令和5年2月

7 会場 岩手県民会館ほか

8 開催行事

(1) 開幕式典

(2) 美術展(巡回美術展)

日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン、現代美術、水墨画

(3) 小・中学校美術展(巡回小・中学校美術展)

小学校絵画、小学校書写、中学校美術、中学校書写

(4) 演劇

(5) 伝統芸能

能楽、邦楽、茶道、華道、吟剣詩舞道

(6) 音楽

合唱、声楽、弦楽、三曲、吹奏楽、ピアノ、ギター、管弦楽

(7) 舞踊

日舞、洋舞

(8) 演芸

民謡、新舞踊

(9) 移動公演

(10) 文芸

ア 県民文芸作品集

小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳

イ 文芸祭

小説大会、戯曲大会、文芸評論大会、随筆大会、児童文学大会、詩の大会、短歌大会、
俳句大会、川柳大会

9 参加作品

- (1) 美術及び文芸の作品並びに声楽及びピアノの演奏発表は、本県関係者の中から公募する。公募要項は、各部門の種目ごとに定める。
- (2) 公募以外の部門の発表、展示等については、各部門が企画し、実行委員会の決定を経て実施する。
- (3) 参加作品は、実施種目ごとに一般公開する。公募作品については、実施種目ごとに公開する範囲を定めるものとする。
- (4) 小・中学校美術展の作品の公募は、岩手県小中学校美術展協会が県内の小・中学校を通じて行うものとする。

10 表彰等

- (1) 特に優れた美術、小・中学校美術及び文芸の作品並びに演奏発表に対しては、審査のうえ、芸術祭賞（文芸祭賞）、優秀賞及び奨励賞を贈る。また、実施種目ごとに部門賞及び入選等を設けることができる。
- (2) 展示、発表作品の審査を行うため、公募部門ごとに審査会又は選者をおく。
審査員及び選者は、第75回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱する。

11 開催経費

経費は、主催する機関、団体の負担金及びその他の収入をもって充てる。

12 協賛参加

芸術祭に自主的に参加を希望する公演、展示等は、実行委員会会長の協賛参加承認を得て行うものとする。

13 国民文化祭への協賛参加

会期を考慮し、第37回国民文化祭・おきなわ2022へ協賛参加するものとする。

(2)第75回岩手芸術祭実行委員会会則

(名称)

第1条 この会は、第75回岩手芸術祭実行委員会という。

(目的)

第2条 この会は、岩手芸術祭を円滑かつ総合的、効果的に運営することを目的とする。

(実行委員)

第3条 この会は、次に掲げる実行委員22人以内をもって組織する。

- (1) 岩手県文化スポーツ部文化振興課総括課長の職にある者
- (2) 公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長の職にある者
- (3) 一般社団法人岩手県芸術文化協会の会長及び副会長の職にある者
- (4) 一般社団法人岩手県芸術文化協会会長の推薦に基づき岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱した者
- (5) 岩手県小・中学校美術展協会の会長又は事務局長の職にある者

(役員)

第4条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 2人
- (3) 監事 2人

2 会長は、一般社団法人岩手県芸術文化協会の会長又は会長の職務代理の職にある者をもって充てる。

3 副会長のうち1名は、公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長又は理事長の職務代理の職にある者をもって充てる。

4 副会長うち1名及び監事は、実行委員の中から会長が委嘱する。

5 役員は、相互にこれを兼ねることができない。

(役員の仕事)

第5条 会長は、この会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ定める順序により職務を代理する。

3 監事は、この会の財務を監査する。

(実行委員の任期)

第6条 実行委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の末日までとする。

(実行委員会議)

第7条 この会の会議は、実行委員をもって構成し、岩手芸術祭の開催に係る次に掲げる事項について議決する。

- (1) 総合的な企画及び運営に関すること。
- (2) 事業計画及び予算に関すること。
- (3) 事業報告及び決算に関すること。
- (4) その他この会の運営に関する重要な事項

2 会議は、会長が招集する。

3 会議の議長は、会長がこれにあたる。

4 会議は、実行委員会の過半数の出席をもって開会し、出席者の過半数をもって決する。

(部門実行委員会)

第8条 岩手芸術祭の各部門の円滑な運営を図るため、必要に応じ、部門実行委員会を置く。

2 部門実行委員会は、次に掲げる事項について協議し、各部門の運営にあたる。

- (1) 各部門の企画及び実施に関すること。
- (2) 各部門の予算及び決算に関すること。
- (3) 実行委員会から付託された事項に関すること。
- (4) その他各部門の運営に関し必要な事項

3 部門実行委員会委員は、会長が委嘱する。

4 部門実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第9条 この会の事務を処理するため、公益財団法人岩手県文化振興事業団に事務局を置く。

2 一般社団法人岩手県芸術文化協会に事務局の分室を置く。

3 事務局には、次の職員を置く。

- (1) 事務局長 1人
- (2) 事務局次長 2人
- (3) 事務局員 若干名

4 事務局長は、公益財団法人岩手県文化振興事業団事務局長の職にある者をもって充て、その他の職員は会長が委嘱する。

(経費)

第10条 この会の運営に要する経費は、負担金その他の収入をもって支弁する。

(会計年度)

第11条 この会の会計年度は、実行委員会の設置の日に始まり、その年度の末日に終わる。

(補則)

第12条 この会則に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(3)第75回岩手芸術祭運営組織

【実行委員会】

岩手芸術祭主催者
 岩手県
 県文化振興事業団
 県芸術文化協会
 岩手日報社
 IBC岩手放送
 テレビ岩手
 めんこいテレビ
 岩手朝日テレビ
 エフエム岩手

実行委員会会長
 (芸文協会長)

岩手芸術祭実行委員会事務局
 ◎事務局長
 県文化振興事業団事務局長
 ◎事務局次長
 県芸術文化協会事務局長
 県文化振興事業団総務課長
 ◎事務局員
 県文化振興課職員
 県文化振興事業団職員
 県芸術文化協会職員

区 分	種 別	実 行 委 員
主 催 者		4人 県文化スポーツ部 文化振興課総括課長 県文化振興事業団理事長 県芸術文化協会会長 " 副会長
美 術 展 (巡 回 美 術 展)	日本画、洋画、版画、彫刻、 工芸、書道、写真、デザイン、 現代美術、水墨画	2人
演 劇	演劇	1人
伝 統 芸 能	能楽、邦楽、茶道、華道、 吟剣詩舞道	2人
音 楽	合唱、声楽、弦楽、三曲、 吹奏楽、ピアノ、ギター、管弦楽	4人
舞 踊	日舞、洋舞	2人
演 芸	民謡、新舞踊	1人
文 芸 (県 民 文 芸 作 品 集) (文 芸 祭)	詩、短歌、俳句、川柳、児童文学、 戯曲、小説、随筆、文芸評論	2人
小・中学校美術展 (巡回小・中学校美術展)	小学校 絵画、書写 中学校 美術、書写	1人
地 域		2人 市町村総合芸術文化団体
合 計		21人

【部門実行委員会】

部 門	種 目	部 門 実 行 委 員
美 術 10	日 本 画	2人
	洋 画	//
	版 画	//
	彫 刻	//
	工 芸	//
	書 道	//
	写 真	//
	デ ザ イ ン	//
	現 代 美 術	//
	水 墨 画	//
舞 台 等 18	演 劇	2人
	伝 統 芸 能	2人
	5 種 目 10人	//
		//
	音 楽	2人
		//
	8 種 目 16人	//
		//
		//
		//
文 芸 9	舞 踊	2人
	2 種 目 4 人	//
	演 芸	2人
	2 種 目 4 人	//
	民 謡	2人
	新 舞 踊	//
	児 童 文 学	3人
	詩	//
	短 俳	//
	川 柳	//
戯 曲	2人	
文 芸 評 論	//	
随 筆	1人	
小 説	//	
合 計	7部門 37種目	76人

(4)第75回岩手芸術祭美術部門実行委員会運営規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、第75回岩手芸術祭実行委員会会則第8条第4項の規定に基づき、美術部門実行委員会(以下「委員会」という。)の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委 員)

第2条 委員会は、一般社団法人岩手県芸術文化協会の推薦に基づき、第75回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱する20人以内の委員をもって構成する。

2 委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の末日までとする。

(役 員)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長の選任は、委員の互選とする。

3 委員長は、委員会の業務を統括する。

(会 議)

第4条 委員会の会議は、必要に応じて、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長がこれに当たる。

(事務局)

第5条 委員会の事務を処理するため、必要に応じて、公益財団法人岩手県文化振興事業団に事務局を置く。

2 事務局に次の職員を置く。

(1) 事務局長 1人

(2) 事務局次長 2人

(3) 事務局員 若干名

3 事務局の職員は、委員の中から委員長が指名する。

4 事務局長は、委員会の事務を掌理する。

5 事務局次長は、事務局長を補佐する。

6 事務局員は、事務局長の命を受けて、委員会の事務を処理する。

(補 則)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(5)岩手芸術祭実行委員会感謝状贈呈に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、岩手芸術祭に関する功労について顕彰し、岩手芸術祭の発展に資することを目的とする。

(感謝状を贈呈される者)

第2条 感謝状を贈呈される者は、個人又は団体であって、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 岩手芸術祭の運営に携わり、多年にわたり芸術祭の発展に貢献した者
- (2) 岩手芸術祭公募作品の審査員又は選者として、多年にわたり部門の発展に尽力した者
- (3) 岩手芸術祭の各部門の指導者として、永年にわたり後進の育成に尽力した者
- (4) その他特に表彰に値する功績があると認められた者

(方法)

第3条 顕彰は感謝状を贈呈して行い、その氏名及び団体名並びに事績を顕彰録等によって公表する。

- 2 感謝状には、記念品を併せて贈ることができる。
- 3 故人の場合は、感謝状その他を遺族に贈り追彰する。

(実施)

第4条 感謝状を贈呈される者は、岩手芸術祭実行委員会において承認されなければならない。

- 2 感謝状及び記念品は、岩手芸術祭実行委員会会長の名によって授与する。
- 3 その他この規程に関し必要な事項は、別に会長が定める。

附 則

この規程は、昭和 55 年5月 21 日から施行する。

附 則

この規程は、平成元年9月 5 日から施行する。

岩手芸術祭実行委員会感謝状贈呈に関する選考基準

1 趣旨

この基準は、岩手芸術祭実行委員会が感謝状を贈呈することについて、必要な事項を定めるものとする。

2 感謝状を贈呈される者

感謝状を贈呈される者は、次の各号に該当する者とする。

ただし、刑罰（道路交通法関係を含む。）を受けて2年を経過しない者は対象としない。

- (1) 岩手芸術祭の運営に携わり、概ね10年以上にわたって、岩手芸術祭の発展に貢献した者
- (2) 岩手芸術祭公募部門の審査員又は選者として、概ね10年以上にわたって部門の発展に尽力した者
- (3) 岩手芸術祭各部門の指導者として、概ね20年以上にわたって後進の育成に尽力した者で、概ね60歳を超えている者
- (4) その他岩手芸術祭の運営等に携わり多大な功績を示し、特に表彰に値すると認められる者

(6)岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認事務手続要領

1 申請手続

主催者は、当該事業が実施される期日（ポスターその他の印刷物等に「岩手芸術祭協賛事業」の名義を印刷する場合は、その印刷日）の遅くとも1か月前までに、岩手芸術祭実行委員会会長（以下「会長」という。）あての申請書（様式1）を提出するものとする。

この申請書には、次の書類を添付しなければならない。

- (1) 事業の概要（事業の目的、実施日時、会場、事業内容、事故防止対策、公衆衛生対策、入場料、共催・後援団体名等）
- (2) 事業の収支予算書
- (3) 主催者が民間団体である場合は、定款、寄附行為、会則、役員名簿、会員数、活動状況等当該団体の性格及び内容を明らかにする書類

2 承認の基準

岩手芸術祭協賛事業の名義の使用を承認する基準は、次のとおりとする。

- (1) 主催者が、次のいずれかに該当するものであること。
 - ア 国又は地方公共団体（公社、公団を含む。）
 - イ 公益法人（宗教法人を除く。）
 - ウ 新聞、ラジオ、テレビ等の報道機関
 - エ 岩手芸術祭の趣旨に沿う事業を実施しようとする企業等
 - オ 芸術文化団体、実行委員会その他の公益的団体（芸術文化活動そのものを目的としたものに限る。）
 - カ その他上記に準ずると認められるもの。
- (2) 事業の内容が、次の各号に適合するものであること。
 - ア 事業の内容が岩手芸術祭の趣旨に沿うものであること。
 - イ 事業が、特定の範囲ではなく、一般の人に公開されるものであること。
 - ウ 事業の資金計画が十分なものであること。
 - エ 営利を目的としないものであること。
 - オ 事業の実施に当たっては、事故防止対策、公衆衛生対策等に十分な措置が講ぜられているものであること。

3 承認の手続

会長は、主催者からの申請書を受理した場合は、2の基準に基づいて審査し、結果を申請者に文書により通知するものとする。

4 主催者の責務

- (1) 事業の主催者及び関係者は、岩手芸術祭の趣旨に反する行為を行ってはならない。
- (2) 事業の主催者及び関係者は、2に掲げる基準の趣旨に反する行為を行ってはならない。
- (3) 事業の主催者は、所属する職員や関係者等が、前2号に該当する行為を行っている疑いがある場合は、会長に報告するとともに、必要な調査を行い、その事実が判明した場合は速やかに是正するとともに、その結果を会長に報告しなければならない。
- (4) 事業の主催者は、前号に係わり、会長から是正等についての指示があった場合は、これに従わなければならない

5 承認の取消

事業の主催者が4の(4)の指示に従わないときは、会長は、承認を取り消すこととする。

6 事業実施報告

事業の主催者は、事業の終了後、1か月以内に事業報告書(様式2)を会長に提出しなければならない。

(様式1)

年 月 日

第 回岩手芸術祭実行委員会
会長 様

[申請者]

団体名

代表者

住所

氏名

電話番号

第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認について

下記事業について、第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 事業の名称
- 2 事業の目的
- 3 事業の主催者
- 4 事業の実施期間及び会場

(添付書類)

- 1 事業概要(内容、入場料、後援団体等)が明らかになる書類
- 2 事業の収支予算書
- 3 主催者が民間団体の場合は、会則、役員名簿、会員名簿、活動状況等団体の性格・内容が明らかになる書類
- 4 その他必要と認める書類

(様式2)

年 月 日

第 回岩手芸術祭実行委員会
会長 様

団体名

代表者

住所

氏名

電話番号

第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認に係る事業報告について

年 月 日付け岩手芸術祭第 号で承認された事業が終了したので、関係書類を添えて報告
します。

記

- 1 事業の名称
- 2 事業の主催者
- 3 事業の実施期間
- 4 会場
- 5 出演者・出品者数
- 6 入場者数


(添付書類)

事業の収支決算書、後援者、プログラム・パンフレット、事業の内容を撮影した写真等を添付すること。

日本画

- 作品の規格** (1)作品は、すべて枠付として表装すること(ガラス抜き)を原則とし、軸装も許可する。
(2)100号以内とする。
(3)寸法は、枠付で測ること。
(4)作品はすぐ展示できるよう、金具・吊具を必ずつけること。
- 出品点数・出品料** 1点3,000円、2点5,000円
- 審査員** ●土井 宏太郎(日本画家) ●片山 道子(岩手県日本画協会理事) ●花立 ゆかり(同理事)
- 事務局** ●花立 ゆかり / 〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅5-92-5-204 ●TEL / 090-3587-1734

洋画

- 出品作品** 出品者のオリジナル作品とする。
※公募要項【公募作品】の「未発表作品」の扱いについて、洋画部門では「審査を伴う公募展等に未発表の作品」とし、個展やグループ展など、審査のない展覧会で発表した作品は出品できる。
- 作品の規格** 額を含み各辺2m以内、突出は50cm以内とする。作品保護のため、画面より突出した額(ガラスなし。アクリル板可。)を付ける。展示の際、額の取り外しを希望する場合は、事前に事務局に相談する。作品裏には作品重量に十分耐え得る吊り具、ひも、針金等を必ず付けること。
- 出品点数・出品料** 1人2点まで(組作品は不可)。1点の場合は4,000円(高校生は2,000円)、2点の場合は6,000円(高校生は3,000円)
- 出品申込** 8月27日(土)までに申込フォームから申し込むこと。またはハガキに「出品目録」の記載事項を漏れなく記入し、事務局宛てに申し込むこと。期限までに申し込みがなかった場合、搬入当日の受付はできません。
申込フォームURL [<https://forms.gle/VvVhz9R7c7jvYgBq6>] 
- 招待** 本年度の洋画部門芸術祭受賞者は、次年度に限り招待する。出品は本人の意思に委ねる。
- 審査員** ●洋画部門理事
- 合評会** 10月30日(日)14時～ 岩手県民会館第2展示室 審査員と出品者による合評会を開催する。
- 事務局** ●岩淵 毅弘 / 〒020-0866 盛岡市本宮字松幅12-3 県立美術館内 ●TEL / 019-658-1711

版画

- 出品作品** 版種は自由。公募展未発表の自作の版表現されたもので、複数表現できるもの。(手色彩手法の作品は認めない)作品には題名とサインを必ず記入すること。
- 作品の規格** 額装を含めて縦・横180cm以内の陳列に支障のないもの。
- 出品点数・出品料** 2点まで3,000円、3点まで5,000円
- 審査員** ●阿部 陽子(版画家) ●田村 晴樹(画家)
- 合評会** 10月16日(日)14時～ 岩手県民会館第1展示室において審査員を囲んで実施する。
- 事務局** ●鈴木 和雄 / 〒028-3601 紫波郡矢巾町高田9-40-15 ●TEL / 019-611-0575

彫刻

- 作品の規格** 2m×2m×2m以内のオリジナル作品とし、会場汚損並びに観客に危害を及ぼす恐れのある作品及び仏像彫刻を除く。ただし、50kgを越す作品については、展示・運搬は出品者自身が行うものとする。
- 出品点数・出品料** 1点3,000円(高校生は1,000円)、1点増すごとに1,000円加算
- 審査員** ●平澤 広(萬鉄五郎記念美術館館長)
- 事務局** ●曾根 達也 / 〒021-0894 一関市磐井町9-1 県立一関第一高等学校内 ●TEL / 0191-23-4311

工芸

- 出品作品** 美術工芸並びに産業工芸等、いずれの性格のものでも構わないが、創作性の高い未発表のものであること。
- 作品の規格** [壁面]180cm×150cm以内
[立体]50cm×50cm×50cm以内 重量50kg以内
立方体でない場合はおおよその換算による大きさとする。
- 出品点数・出品料** 1点4,000円、1点増すごとに1,000円加算(高校生は1点2,000円、1点増すごとに500円加算)
- 審査員** ●赤堀 郁彦(日展特別会員) ●菊池 房江(岩手工芸美術協会会長)
- 講評会** 工芸セミナー(審査講評を兼ねながら)9月11日(日)14時～15時 エスポワールいわて3階特別ホール
- 事務局** ●竹田 康夫 / 〒028-4134 盛岡市下田字陣場41-43 ●TEL / 019-683-1425

書道

- 作品の種別・規格** (1)種別 ▶ 漢字、かな、篆刻・刻字、漢字かな交じり書(近代詩文書等)、前衛書
(2)仕上がり寸法 ▶ 横1辺182cm(6尺)以内、縦1辺242cm(8尺)以内、面積1.48㎡(16平方尺)以内、重量15kg以内
(3)仕立 ▶ 額、枠装(帖、軸装は認めない) ガラス入りは認めない(アクリルは可)
- 出品点数・出品料** 1人1点4,500円
- 審査員** ●吉田 晨風(岩手書道協会会長) ●野田 杏苑(同副会長) ●澤藤 華星(同副会長) ●津志田 沙苑(同参与) ●佐々木 飛鴻(同理事) ●佐竹 松濤(同理事) ●丸若 敬葉(同理事)
- 鑑賞会** 10月2日(日)14時～ 岩手県民会館第2展示室
- 事務局** ●熊谷 知暁(碓斗) / 〒028-3305 紫波町日詰字朝日田1 県立紫波総合高等学校内 ●TEL / 019-672-3690

写真

- 出品作品・規格** (1)テーマ ▶ 自由。モノクロ、カラーいずれも可。
※被写体が人物の場合、応募に際して必ず被写体本人の承諾を得ること。
(2)サイズ ▶ 単写真・組写真・連写真を問わず、いずれも全体の仕上がりは、外寸42cm×51cm以上外寸120cm×210cmまでとする。
(3)木製パネルに限る。
(4)そのまま展示できるよう裏面に紐を付けること。組写真・連写真は連結して搬入すること。
※連結しない写真、蝶番の使用などほかの作品に傷を付けるようなもの、及びガラス入り額等破損の恐れのあるものは受け付けない。
- 審査員** ●ハービー・山口(写真家)
9月11日(日)10時～ 公開審査とする。ただし、感染症対策のため入場制限をかける場合がある。
- 出品点数・出品料** 1人2点まで 42cm×51cm以上長辺100cmまで3,000円、左の寸法を超える長辺210cmまで4,000円。高校生・大学生はサイズに関わらず1,000円
- その他** 搬入受付・公開審査は岩手県民会館2階日レストランで行う。展示は入選作以上とする。
応募等の詳細は岩手県写真連盟公式ホームページ ▶ iwateken-shashin-renmei.jimdofree.com/参照
- 事務局** ●松本 尚子 / 〒020-0015 盛岡市本町通1-16-1 ●TEL / 019-623-8281

デザイン

- 応募資格** 一般・大学生・専門学校生・高校生
- 出品作品** 平面デザインに限る。作品はすぐに展示できるようパネル裏面に必ず吊り金具、ひも等を付けること。
A部門 ▶ ポスター及びイラストレーション
B部門 ▶ 課題作品=(盛岡ロータリークラブ協賛)21世紀の地球環境を考える。(地球を取り巻く環境全般をテーマとする)「盛岡ロータリークラブ」を明記すること。マークは位置指定のみでも可。

Rotary 盛岡ロータリークラブ メッセージ

盛岡ロータリークラブでは、岩手芸術祭美術展デザイン課題部門に、1983年から協賛しており第5回1987年までは課題を「ゴミゼロ運動」、1988年からは課題を環境全体に広げて、「環境保全」として公募してまいりました。第8回1990年からは、金賞作品を約400部印刷して、岩手県内官公庁、各大学、各専門学校、各中高等学校や各図書館などに贈呈しております。

盛岡ロータリークラブでは、毎年表彰式を開催して、金賞に5万円、銀賞に2万円、銅賞に1万円の賞金を贈呈しております。今、SDGsが声高に叫ばれてきております。募集のコンセプトは「この地球環境を未来へ」です。それぞれの地球市民の視点での、感性溢れる作品の応募をお待ちしております。

社会奉仕委員長 下道 利幸

- 出品の体裁・規格** A部門 ▶ 自由作品はB0判パネル(145.6cm×103cm)、B1判パネル(103cm×72.8cm)、B2判パネル(72.8cm×51.5cm)
B部門 ▶ 課題作品はB1判パネル(103cm×72.8cm)タテ位置に限る。
※出品目録の種別欄には、出品部門(A部門またはB部門)を記入のこと。
- 出品料** 一般 / 1点3,000円(1点増すごとに1,000円加算)
大学生・専門学校生・高校生 / 1点1,000円(1点増すごとに500円加算)
- 審査員** ●本村 健太(岩手大学人文社会科学部教授) ●[B部門]海野 尚(盛岡ロータリークラブ会長) ●竹村 育貴(岩手デザイナー協会会長)
- 公開審査** / 9月11日(日)10時～11時30分 岩手県民会館第1展示室
- 事務局** ●佐々木 海太郎 / 〒020-0132 盛岡市西青山3-35-12 グラフィコ内 ●TEL / 090-1695-4910



現代美術

- 出品作品** 「現代美術」とは「ものを見ること(視覚認識)」や「社会をどう見つめるか」ということを常に問題にしている。平面、立体、映像、インスタレーション、音響を含むものなど、様式や技法にとらわれない表現を扱う。屋内と野外展示(緑の広場)の2会場で募集する。なお、審査搬入当日は16時を展示作業終了時間とする。
- 作品の規格** 屋内展示▶立体、インスタレーション=床面積15㎡以内×高さ4m以内、平面=10㎡以内
野外展示▶[会場/緑の広場]25㎡以内 ※野外展示については必ず8月25日(木)までに事務局へ問い合わせの上、詳細を事前に確認すること。作品の規格が展示会会場管理者の基準に外れる場合は展示を許可できない場合もある。
- 出品点数・出品料** 1人2点まで 1点4,000円、2点5,000円(学生は1点3,000円、2点4,000円)
- 審査員** ●佐藤 時啓(東京藝術大学美術学部教授)
- 事務局** ●浅倉 伸 / 〒020-0862 盛岡市東仙北2-2-29 ●TEL / 090-7337-7232(直通)

水墨画

- 作品の規格** (1)作品寸法▶F8(38×45.5)以上～和紙全紙を用途(2)表装▶額装(アクリル使用のこと、ガラス不可)・軸装
- 出品点数・出品料** 1人1点4,000円
- 出品申込** 9月2日(金)までに事務局に申し込むこと。
- 審査員** ●菊池 一政(岩手県水墨画協会会長) ●岸本 カヨ子(同副会長) ●阿部 慶造(同副会長) ●工藤 晴男(同副会長) ●清水 恒男(同機関紙部長)
- 事務局** ●北村 義美 / 〒020-0106 盛岡市東松園2-12-4 ●TEL / 019-661-8923

出品作品に関するお問い合わせは、P1～3記載の各部門事務局までお願いいたします。

応募資格

岩手県内在住者、本籍が岩手県にある者、岩手県出身者または岩手県内学校の卒業生及び在学学生(※洋画・彫刻・写真・デザイン部門は中学生以下を除く、書道部門は高校生以下を除く。)

公募作品

公募作品は、日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン・現代美術・水墨画の10部門とし、作品は未発表作品とする。規格等はP1～3各部門記載を参照。

出品申込・受付

作品の出品時には、出品料及び必要事項を記載した次の所定用紙を提出すること。ただし、輸送搬入の場合の出品料、出品目録、出品受付証は9月6日(火)までに各部門事務局あて送ること。

- (1)出品目録(全部門共通様式/出品部門ごとに必要)
- (2)出品票(洋画・書道部門以外共通様式/出品作品ごとに必要) ※作品の裏側に貼付
- (3)出品受付証(全部門共通様式/出品部門ごとに必要) ※作品搬入の際に、引換証となる場合があるため、搬入日(右記)まで保管すること。

作品の搬入

部門	搬入場所	搬入日時
日本画	岩手県民会館4階第1会議室	9月10日(土) 10時～16時
版画	岩手県民会館4階第2会議室	
写真	岩手県民会館2階旧レストラン	
デザイン/水墨画	岩手県民会館第1展示室	
洋画/工芸/書道/現代美術	岩手県民会館第2展示室	
彫刻	岩手県民会館地下収蔵庫	

部門	あて先	搬入日時
日本画/版画	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 岩手県民会館4階会議室内 芸術祭美術展〇〇部門受付	9月10日(土)に限る
写真	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 岩手県民会館2階旧レストラン内 芸術祭美術展写真部門受付	※輸送業者に配達日を指定すること。 梱包表面に
洋画/彫刻/工芸/デザイン/水墨画	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 岩手県民会館展示室内 芸術祭美術展〇〇部門受付	「美術展〇〇部門出品物」と大きく朱書きのこと

※書道、現代美術作品の輸送搬入は認めない。

その他 留意事項

- 出品者は、以下について承諾のうえ出品すること。
- (1) 出品作品の不慮の災害による損害については、主催者はその責を負わない。
- (2) 搬入・搬出及び荷造りの費用は、出品者の負担とする。
- (3) 出品作品は、岩手芸術祭の記録集、主催団体等が運営するインターネットのホームページ、報道及び広報紙などに掲載される場合がある。
- (4) 報道機関の岩手芸術祭にかかる取材等に対し、出品者の氏名、居住市町村名の情報提供をすることがある。
- (5) 出品目録及び出品票に記入された個人情報(上記のほか、審査結果の通知、展示目録等印刷物の作成、表彰式の開催案内など、美術展の運営業務の範囲内に限り利用するものであり、それ以外の目的には一切使用しない。
- (6) 美術展の実施は、内容の変更や中止となる可能性がある。

展示

展示は、入賞・入選作品並びに招待作品とし、展示方法は実行委員会に一任のこと。(※彫刻部門はP1記載のとおり) 展示会場、日時及び作業日は以下のとおりである。

- 会場/岩手県民会館展示室 ●時間/10時～17時(各期最終日は16時まで)

開催期	部門	開催日	展示作業日
第1期	工芸/書道	10月1日(土)～10月4日(火)	9月30日(金)
第2期	日本画/版画/水墨画	10月13日(木)～10月16日(日)	10月12日(水)
第3期	写真/デザイン/現代美術	10月20日(木)～10月23日(日)	10月19日(水)
第4期	洋画/彫刻	10月27日(木)～10月30日(日)	10月26日(水)

作品の搬出

部門	搬出日時	搬出場所	注意
工芸/書道	10月4日(火) 16時～18時	岩手県民会館 第1・2展示室	※搬出指定日時に搬出しない場合は、実行委員会の指定する業者により荷造り、送料とも着払いで返送する。
日本画/版画/水墨画	10月16日(日) 16時～18時		
写真/デザイン/現代美術	10月23日(日) 16時～18時		
洋画/彫刻	10月30日(日) 16時～18時		

部門	搬出日時	注意
工芸	10月4日(火) 16時～18時	※輸送による搬出を希望する場合は事前に部門事務局へ申出の上、指示に従うこと。
水墨画	10月16日(日) 16時～18時	
写真	10月23日(日) 16時～18時	
洋画/彫刻	10月30日(日) 16時～18時	

審査、発表及び表彰

審査は、第75回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱した審査員により、9月11日(日)に搬入会場で行い、部門ごとに入賞【芸術祭賞(1点:賞金3万円)、優秀賞(1点:賞金2万円)、奨励賞(2点:賞金1万円、部門賞)】及び入選を決定する。審査の結果は、本人あて通知する。表彰式の案内は、審査結果と別に対象者あて通知する。

巡回美術展

岩手県民会館での本展終了後、10部門の各入賞作品8点以内(部門賞は部門推薦作品)、計80点程度を県内市町において巡回展示する。
●巡回期間/令和4年11月19日(土)～令和5年1月29日(日)(予定)
●開催地/一戸町、山田町、久慈市、宮古市、奥州市、花巻市

洋画部門出品票

作品票 A	作品番号 ※	大きさ	作品票 B	作品番号 ※	大きさ
	題名			題名	
	氏名	TEL		氏名	TEL
	搬出方法	本人・委託(業者名)		搬出方法	本人・委託(業者名)

●作品の裏側右上部に切り離さないでAのみのり付けする ●作品番号は記入しないこと ●A・B票とも記入すること

洋画部門出品票

作品票 A	作品番号 ※	大きさ	作品票 B	作品番号 ※	大きさ
	題名			題名	
	氏名	TEL		氏名	TEL
	搬出方法	本人・委託(業者名)		搬出方法	本人・委託(業者名)

●作品の裏側右上部に切り離さないでAのみのり付けする ●作品番号は記入しないこと ●A・B票とも記入すること

方搬出	住所	氏名	作品番号 ※	題名	TEL	住所
本人・委託(業者名)			釈文 別紙ハガキ大(タテ)を用意して全文を書く			

●作品の裏側右上部に貼付 ●作品番号は記入しないこと

第75回 岩手芸術祭美術展

部門/出品目録

ふりがな	氏名	(号ほか)	男・女	年齢	歳	職業
	住所	□□□-□□□□				
				TEL (自宅)		
				TEL (携帯)		
作品番号 (事務局記入)	題名	種別	大きさ			
※						
※						

- 搬出方法 ▼本人 ▼委託[業者名] TEL
- 県外の応募者は、岩手県との関わりをご記入ください。(例: 出身地名、在籍した学校名など) 岩手県との関わり:

美術展出品受付証

出品料	金	円也
出品作品	点受付	
	令和4年9月 日	
	様	
	部門	
	受付受領	
	作品番号(事務局記入)	※
	※	

応募資格

岩手県在住者(経験者も含む)、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方。
 県外の応募者にあつては岩手県との関わりを記入すること。(かつて居住した岩手県の市町村名など)

公募内容

小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳の9種目のうち、
 日本語で書かれた未発表の創作作品。
 (ただし、戯曲・シナリオについては上演済みの作品も可)

応募原稿					
種目	応募できる作品数	原稿枚数	題名記載場所	応募者情報記載場所	その他
小説	1篇	原稿用紙30枚以内 (文字数換算可)	1行目	末尾 又は別紙	●内容は下記のいずれかとし、応募者情報に記載すること。 (1)演劇一幕もの (2)ラジオドラマ (3)テレビドラマ ●研究的内容のものも可とする。
戯曲・シナリオ	1篇	原稿用紙50枚程度 (文字数換算可)	1行目		
文芸評論	1篇	原稿用紙30枚以内 (文字数換算可)	1行目		
随筆	1篇	原稿用紙4枚	1行目		
児童文学	1篇(少年少女詩、童謡の場合は3篇以内)	原稿用紙30枚以内 (文字数換算可)	1行目	別紙	●フィクション、ノンフィクションを問わない。
詩	3篇以内	1篇につき 原稿用紙3枚以内	1行目	別紙	●行あけを明確にすること。 ●篇ごとの通し番号を付すこと。 (篇-頁: 1-1, 1-2, 1-3, 2-1, ...)
短歌	10首	原稿用紙1枚	欄外	裏面	
俳句	雑詠5句1組	はがき1枚 (メール可)	1行目		
川柳	雑詠7句				

- 原稿用紙の規格は、サイズをA4またはB4とし、20行×20行の400字詰めとする。
- 応募原稿は縦書きとし、複数枚の場合はページ番号を付し、右上綴じとする。
- 応募者情報は、次の①から⑦を記載し、提出の際は、種目別に指定する方法で、応募原稿に添えて提出すること。
ふりがな ①筆名・雅号(ある場合のみ) ②氏名 ③住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥Eメールアドレス(ある場合のみ) ⑦岩手県との関わり(県外在住者のみ)

点字で応募する場合

※32マスの点字器を使用し、点字用紙片面打ち1枚あたり16行を標準とする。
 (他の点字器を使用する場合はこれに準ずること。)各種目の枚数は次の表のとおり。

小説	戯曲・シナリオ	文芸評論	随筆	児童文学
40枚以内	66枚程度	40枚以内	6枚	40枚以内

- 会話の部分は行を改め、「」を使用すること。
- 段落は3マス目から書きはじめ、点字用紙にページを打つこと。
- 繰返符号は用いないこと。
- 句点を入れること。
- 墨字訳にあたり使用を希望する漢字がある場合は、別紙に簡条書きにすること。

賞の概要 ———— 入賞者は岩手県文化振興事業団のHP上で発表し、表彰式において正賞及び副賞を授与する。

賞の種類	作品数	賞額
芸術祭賞	各種目1作品	●正賞▶作品集掲載及び賞状 ●副賞▶3万円
優秀賞	各種目1作品	●正賞▶作品集掲載及び賞状 ●副賞▶2万円
奨励賞	各種目2作品	●正賞▶作品集掲載及び賞状 ●副賞▶1万円
佳作・入選・選者賞等	詩/短歌/俳句/川柳のみ、任意の点数	●正賞▶作品集掲載

発表日 令和4年10月7日(金)

表彰式 令和4年12月11日(日)

会場 サンセール盛岡(予定)

選者	小説	戯曲・シナリオ	文芸評論	随筆	児童文学	詩	短歌	俳句	川柳
	●大平 しおり	●村井 直衛							
		●昆 明男	●落合 昭彦						
		●牛崎 敏哉	●赤崎 学						
		●須藤 宏明	●野中 康行						
		●千葉 留里子	●藤原 成子						
		●東野 正	●菊池 唯子	●兒玉 智江					
		●伊藤 淑子	●稲垣 貞男	●岡田 紘子	●酒井 久男	●松田 久恵			
		●白濱 一羊	●小畑 柚流	●小林 輝子	●名久井 清流	●津志田 武			
		●熊谷 岳朗	●河野 康夫	●中野 裕子					

応募上の注意

- 応募作品が過去に発表されていたことが確認された場合は、入賞・入選を取り消すことがある。
- 手書き原稿の場合は万年筆やボールペン等を用いて、かい書で書いた原稿を提出すること。(鉛筆書きは不可とする。)
- データ原稿の場合は、データ形式はMS word (.doc/.docx)、テキスト(.txt)、PDF(.pdf)のみとする。
- 種目毎の応募できる作品数を超えて応募した場合、審査対象外とする。
- 複数の種目に応募することができるが、メールで応募する場合は、必ず1種目ずつ別送し、郵送で応募する場合は区分して封入すること。
- 提出後の作品の訂正は受け付けないこと。
- 応募作品は返却しないので、必要とする場合はコピーをとっておくこと。
- 特定の個人・団体を誹謗・中傷する作品、公序良俗に反する内容の作品、本公募要項に違反している作品、その他選者が相応しくないと判断した作品は選考対象外とする場合があること。
- 受賞作品を作品集に掲載する際の体裁の指定はできないこと。

応募締切

令和4年8月31日(水) 必着

作品集の刊行 / 令和4年12月9日(金)刊行予定(県内書店で販売)

お問い合わせ先

岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
 〒020-0023 盛岡市内丸13番1号
 ●電話 / 019-654-2235 ●FAX / 019-625-3595
 ●mail / i-geijutsu@iwate-bunshin.jp

応募方法【電子メール】【郵送】のいずれか

電子メール i-geijutsu@iwate-bunshin.jp
(岩手芸術祭実行委員会事務局)

標題に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と明記し、応募作品はWord等のファイルにして添付のうえ送信すること。ただし、短歌・俳句・川柳の作品については、本文記載も可とする。メール送信後1週間以上、作品を受信した旨の返信がない場合は事務局まで電話で問い合わせること。

郵送 〒020-0023 盛岡市内丸13番1号 岩手県民会館内
 岩手芸術祭実行委員会「県民文芸作品集」係

封筒、ハガキの表に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と朱書きすること。

個人情報の取り扱い

応募者の個人情報は、審査結果の公表を含む作品集刊行業務の範囲内に限り利用する。ただし、入賞、入選者については、報道機関等に氏名及び居住市町村名の情報提供を行う場合がある。

提出前にもう一度確認【よくある不備リスト】

書式の不備

- ▶縦書きですか？
- ▶題名の記載場所は指定どおりですか？
- ▶ページ番号は付与しましたか？

枚数・文字数の超過

- ▶指定された枚数又は文字数ですか？

首数・句数の不足や超過

- ▶指定の首数、句数ですか？

応募者情報の不足

- ▶筆名・雅号の方は本名を記載しましたか？
- ▶県外在住の方は、岩手県との関わりについて記載していますか？

応募及び
大会参加資格

岩手県在住者、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方。

小説

日時 令和4年10月15日(土)午後1時30分～ ※10月5日までに申し込むこと。
会場 岩手県公会堂21号室(盛岡市内丸11-2)
内容 県民文芸作品集応募作品の講評 講師●大平 しおり ●村井 直衛
事務局 第75回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
 〒020-0023 盛岡市内丸13-1 ●TEL / 019-654-2235 ●FAX / 019-625-3595

戯曲

日時 令和5年1月21日(土)午後1時30分～午後4時30分
会場 盛岡劇場タウンホール(盛岡市松尾町3-1)
参加費 500円
内容 戯曲と演劇に関わるワークショップ
事務局 ●高村 明彦 〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-18 ●TEL / 090-1498-3591
運営委員 ●昆 明男 ●倉持 裕幸 ●高村 明彦

文芸評論

日時 令和4年10月10日(月・祝)午後1時～午後5時(午後0時30分～受付)
会場 岩手県民会館第3会議室(盛岡市内丸13-1)
内容 小講演と研究発表
 小講演「啄木と賢治～国際啄木学会の現状と宮澤トシ没後100年記念行事を中心として～」講師●望月 善次
 「文芸評論の周辺」講師●赤崎 学
 「宮沢賢治とウクライナ」講師●牛崎 敏哉
 研究発表: 1～3人
 ★発表資格: 次の1.又は2.のいずれかを満たす方
 1.『県民文芸作品集(評論の部)』応募者
 2.9月8日(木)までに事務局宛発表趣旨(A4判、1枚程度)と共に申し出た方。
参加費 無料
事務局 ●牛崎 敏哉 〒025-0001 花巻市天下田150-14 ●TEL / 090-2932-2628
運営委員 ●牛崎 敏哉 ●望月 善次

随筆

日時 令和4年10月29日(土)午後1時～3時30分頃 ※10月14日までに申し込むこと。
会場 岩手県公会堂21号室(盛岡市内丸11-2)
内容 県民文芸作品集応募作品の講評 講師●須藤 宏明 ●野中 康行
事務局 第75回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
 〒020-0023 盛岡市内丸13-1 ●TEL / 019-654-2235 ●FAX / 019-625-3595

児童文学

日時 令和4年10月29日(土)午後1時30分～午後3時30分
会場 イーストピアみやこ[宮古市市民交流センター](宮古市宮町1-1-30)
内容 ①県民文芸作品集応募作品の選評 講師●千葉 留里子
 ②講演・意見交換「伝えたい、語りたい―『田老の町で生き抜いて』を通して―」講師●田沢 五月(児童文学作家)
参加申込 往復はがき又はメールで事務局まで。定員50名になり次第締め切り。
事務局 ●千葉 留里子
 〒020-0114 盛岡市高松2-25-30 ●TEL / 019-661-6672 ●mail / ruri60-60@outlook.jp
運営委員 ●千葉 留里子 ●加藤 典夫 ●佐々木 喜久子

種目毎の大会の内容 ———— 大会の内容に関するお問い合わせは各大会事務局までお願いいたします。

詩

日時 令和4年10月23日(日)午前10時～
会場 北上生涯学習センター第1学習室(北上市大通1-3-1)
会費 1,000円(当日受付、資料代ほか)
応募作品 未発表作品3編以内、A4判原稿用紙使用、1編につき3枚以内で右綴じのこと。ワープロ原稿はA4判に印字のこと。尚、原稿1編につきコピー原稿を3部添付すること。選者の講評をご希望の方は84円切手を貼った返信用定形封筒に本人宛先を記入の上、同封のこと。
選者 ●東野 正 ●菊池 唯子 ●兒玉 智江
表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか。
公募期間 令和4年7月1日(金)より9月2日(金)※必着のこと
事務局(応募先) 岩手県詩人クラブ文芸祭「詩の大会」事務局
 〒029-2205 陸前高田市高田町字山苗代58-8 ●松崎みき子 ●TEL / 0192-55-2628
運営委員 ●菊池 唯子 ●松崎 みき子 ●兒玉 智江

短歌

日時 令和4年10月8日(土)午後0時30分～午後3時頃
会場 盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)
会費 出詠料1,000円(学生は無料)、当日会費500円(後日、互選のための詠草集に同封の払込取扱票にて払い込むこと。)
詠草 1首(未発表作品) はがきを使用。住所・氏名・電話番号・年齢を明記。学生は学校名も明記。
選者 ●赤澤 篤司 ●折居 路子 ●神原 猛 ●清水 亞彦 ●吉田 史子
表彰 優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈る。
応募締切 令和4年8月31日(水)必着
事務局(応募先) ●赤澤 篤司
 〒020-0016 盛岡市名須川町11-8 ●TEL・FAX / 019-625-5874
運営委員 ●赤澤 篤司 ●外館 克裕 ●山本 豊

俳句

日時 令和4年10月15日(土)午前10時から午後3時
会場 盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)
参加費 1,500円(資料代等)
内容 句会、互選、選者選、披講、講評、表彰
選者 ●白濱 一羊 ●小畑 柚流 ●小林 輝子 ●名久井 清流 ●津志田 武
事務局 ●山火 律子 〒020-0807 盛岡市加賀野3-16-23 ●TEL・FAX / 019-624-5122
運営委員 ●山火 律子 ●四日市 洋子 ●四戸 美佐子 ●和田 タケ ●中村 紀子 ●中野 風子

川柳

日時 令和4年10月22日(土)午前9時45分～午後3時
会場 アイーナ・いわて県民情報交流センター(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)
会費 2,000円(記念品・昼食・発表誌)
席題と選者(2句詠) 「 」●野口 一滴 選
宿題と選者(各題2句詠) 「祈る」●山田 美鈴 選 「やっぱり」●鷹背 関雄 選 「実る」●中島 久光 選
 「糸」●あべ 和香 選 「消える」●佐藤 康 選 「雑詠」●熊谷 岳朗 選
賞 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、総合1位、合点賞(15位まで、参加者のみ)、特選賞
欠席投句拝受 用紙自由。住所・氏名(雅号)・電話番号を明記のうえ下記事務局まで。
 1,000円の定額小為替を同封のこと。(10月14日(金)消印有効)
事務局 ●伊藤 豊志 〒027-0028 宮古市神林5-25 ●TEL・FAX / 0193-62-1137
運営 ●岩手県川柳連盟

応募資格 年齢18歳以上の岩手県在住者、又は岩手県に本籍がある者。

募集内容

演奏日時
会場

- 令和4年 11月5日(土) ▶ 開演13:30～
- 岩手県民会館中ホール

演奏内容	歌曲・オペラのアリア等、ひとり8分以内
伴奏者	各自で準備すること。事務局でも斡旋可能。
申込締切	令和4年8月31日(水)
出演経費	12,000円(チケット負担金を含む)
応募方法	所定の申込用紙に記入の上、下記申込先に郵送すること。
その他	● 著作権料のかかる曲目は演奏者の負担とします。
申込み・問合せ先	〒020-0133 盛岡市青山一丁目20-26 丸岡 千奈美 宛 ● TEL / 019-647-1850 ● mail / cmaru@mapo.jp

----- キリトリ -----

申込日 令和 年 月 日

出演申込書			
ふりがな			
名 前			歌い手の プロフィール
生年月日	昭和・平成 年 月 日生れ(満 歳)	(パート)	
住 所	(〒)		
電話番号	()		伴奏者 プロフィール
曲 目 作者名 (8分以内)			
住 所			

注) 出演申込書に記入いただく個人情報は、演奏会運営業務の範囲内に限り利用するものであり、それ以外の目的には一切利用いたしません。

応募資格

- ジュニア部門▶県内在住もしくは、岩手県出身者の高校生以下の方。
- 一般部門▶ジュニア部門と同じ条件で18歳以上(年齢制限なし)の方。

開催日時 ●令和4年10月30日(日)▶(開場14:30)開演15:00~
会場 ●岩手県民会館中ホール

審査員

第75回岩手芸術祭実行委員会が委嘱した下記の審査員により、審査を行う。(ジュニア部門及び一般部門の演奏者は審査員からコメントを貰える。)

- 審査員**
- 佐々木 素(ピアニスト)
 - 松岡 淳(昭和音楽大学講師・ピアニスト)
 - 赤松 林太郎(大阪音楽大学准教授・ピアニスト)

表彰(一般部門のみ)

- 最も優れた演奏に対して芸術祭賞を贈る。副賞として一般社団法人岩手県ピアノ音楽協会より芸術祭賞には賞金30,000円。その他に、1年間一般社団法人岩手県ピアノ音楽協会が主催するコンサート及び第76回岩手芸術祭に招待演奏する資格が与えられる。
- 部門賞として審査員から審査特別賞を贈る。

演奏内容

ジュニア部門 10分以内の任意の曲(ソロ・連弾)
 一般部門 20分以内の任意の曲(ソロ・連弾)
 ※エントリー後の曲目の変更は認められません。

参加料

ジュニア部門 ●参加料 12,000円
 ●チケット負担金 3,000円(3枚分) ●計15,000円

一般部門 ●参加料 15,000円
 ●チケット負担金 3,000円(3枚分) ●計18,000円

応募内容

所定の申込用紙(右記の出演申込書)に記入の上、申込書のみ9月7日(水)までに、下記申込先に郵送すること。(当日消印有効)
 申込み受付後、本人に振込用紙を送付する。振込用紙到着後、1週間以内に参加料を振り込むこと。

申込先事務局 〒020-0117 盛岡市緑が丘2-2-11 一般社団法人岩手県ピアノ音楽協会
 ●TEL・FAX / 019-661-2927 ●mail / iwatepref-piano@iaa.itkeeper.ne.jp

その他

- 連弾の参加料は、ワンステージとする。但し、チケットは、出演者人数分の負担とする。
- 振込み後の返金は致しかねます。
- 問い合わせ先は、上記申込書に同じ。
- 出演申込書に記載された個人情報は、ピアノ演奏会の運営業務の範囲内に限り利用するものであり、それ以外の目的には一切使用しない。

第75回岩手芸術祭ピアノ演奏会【ジュニア部門】参加申込書

演奏形態 (該当するものに○)	1 ソロ	2 連弾
ふりがな		
氏名		
住所	(〒 -)	
学校名	●プログラムに記載しますので、○○立○○学校など正式名称を記載してください。	
演奏曲目	演奏時間	分
作曲者	●作品番号、調性を必ず明記して下さい。	
師事者	●当協会会員師事者以外は連絡先も明記して下さい。 ●TEL() -	

第75回岩手芸術祭ピアノ演奏会【一般部門】参加申込書

演奏形態 (該当するものに○)	1 ソロ	2 連弾
ふりがな		
氏名		
住所	(〒 -)	
演奏曲目	演奏時間	分
作曲者	●作品番号、調性を必ず明記して下さい。	

プロフィール(入賞の際、必要となりますので、出身地もご記入下さい。市町村単位で結構です。)

小学校
絵画

中学校
美術

岩手芸術祭

I W A T E A R T

小中学校

Elementary & Junior High School

美術展

FESTIVAL

小学校
書写

中学校
書写

入場
無料

12/2(金)・3(土)・4(日)

9:00~17:00(最終日は16:00)

主催

●岩手県 ●岩手県文化振興事業団 ●岩手県芸術文化協会
●岩手日報社 ●IBC岩手放送 ●テレビ岩手 ●めんこいテレビ
●岩手朝日テレビ ●エフエム岩手

運営

●岩手芸術祭実行委員会 ●岩手県小・中学校美術展協会

各小・中・義務教育学校長様

令和4年7月1日

岩手県知事 達増 拓也

岩手県教育委員会教育長 佐藤 博

第75回岩手芸術祭実行委員会会長 柴田 和子

岩手県小・中学校美術展協会会長 和田 英

第75回岩手芸術祭 小・中学校書写・美術作品募集について(お願い)

岩手芸術祭の一環として、本年度も小・中学校美術展(書写・美術作品)を開催し、書写・美術教育の振興に資するため、下記要項により作品を広く県内小・中学校より募集することになりました。つきましては募集要項をご覧の上、多数ご出品くださいますようお願い申し上げます。(小学校には義務教育学校前期課程、中学校には後期課程を含みます。)

第75回岩手芸術祭 小・中学校美術展作品募集要項

第75回岩手芸術祭の一環として、県内小・中学校児童、生徒の書写・美術を展示し、広く県民に児童、生徒の作品について鑑賞の機会を提供するとともに、本県小・中学校の書写・美術教育の振興をはかる。

1 応募資格 岩手県内の小・中学校に在籍している児童、生徒の作品で個人制作、各部門1人1点とする。

●令和4年度に制作した作品で、各部門の定める規定に合致するものとする。

2 応募作品 ●出品料は無料とする。

●書写の応募作品は返却しない。美術作品について返却を希望する学校は、出品目録に記入すること。

3 出品方法 作品は学校を経由して所定の出品票(書写は不要)、出品目録及び出品者名簿を必ず添付して出品すること。
各様式は、岩手県文化振興事業団ホームページ(<http://www.iwate-bunshin.jp/>)からダウンロードのこと。

4 受付期間 令和4年9月21日(水)から10月5日(水)まで。(10月5日(水)必着のこと。)

5 小学校絵画作品送付先

中学校美術作品送付先

小学校書写作品送付先

中学校書写作品送付先

送り先

〒020-0015 盛岡市本町通2-18-1
盛岡市立仁王小学校内
山本のり子 宛
TEL ▶ 019-623-4214

〒020-0861 盛岡市仙北3-18-1
盛岡市立仙北中学校内
大坂忍 宛
TEL ▶ 019-636-0573

〒020-0022 盛岡市大通3-8-1
盛岡市立桜城小学校内
八木橋 智子 宛
TEL ▶ 019-653-5758

〒020-0044 盛岡市城西町4-1
盛岡市立城西中学校内
對馬 亜希子 宛
TEL ▶ 019-623-9274

★小・中学校美術展にかかわるお問い合わせは、栗石小学校 副校長 吉田 充へお願いします。TEL 019-692-2203

6 審査 岩手県小・中学校美術展協会会長が委嘱した審査員により審査する。

7 入賞入選発表 入賞・入選者は審査終了後、出品学校長宛通知するほか、入賞者については岩手日報を通じて発表する。

8 褒賞 すぐれた作品に対し、各部門ごとに芸術祭賞、優秀賞、奨励賞、その他の賞を贈る。

9 展示 展示は入賞・入選作品のみとし、展示方法は岩手県小・中学校美術展協会へ一任する。

10 展示期間 令和4年12月2日(金)から12月4日(日)までの3日間とする。
(12月2日~3日は9時から17時まで、12月4日は9時から16時まで)

11 展示会場 岩手県民会館 展示室(盛岡市内丸13-1 TEL ▶ 019-624-1171)

12 巡回展 第75回岩手芸術祭巡回小・中学校美術展開催要項にもとづき、県内各地で巡回展示する。(作品は学年別、書写、絵画作品300点程度)巡回コースおよび日程については後日決定する。(巡回展の事務局は県文化スポーツ部文化振興課)

岩手県総祭
作品募集!



後援 ●岩手県教育委員会 ●盛岡市 ●岩手県小学校長会 ●岩手県中学校長会 ●岩手県小学校教育研究会国語部会 ●岩手県書写書道教育研究協議会
●岩手県小学校教育研究会図工部会 ●岩手県中学校教育研究会美術部会 ●NHK盛岡放送局 ●盛岡タイムス社 ●胆江日日新聞社 ●岩手日日新聞社

協賛 第37回国民文化祭・美ら島おきなわ文化祭2022協賛事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止等に伴い、中止や延期・縮小となる場合がございます。
●最新情報は「岩手芸術祭ホームページ」まで
<http://www.iwate-bunshin.jp/artfes/>
(公財)岩手県文化振興事業団ホームページ内



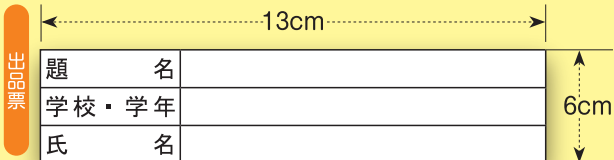
小・中学美術作品応募について

募集する作品

- 1 **種目** 絵画、版画、デザイン(平面)とする。いずれか一人一点とする。
- 2 **主題** 自由
- 3 **画材** クレヨン、パス、水彩などいずれでもよい。
- 4 **用紙** 原則として4つ切(36cm×54cm)とする。台紙に貼り付けないこと。但し、版画の用紙が4つ切より小さい場合には、作品を台紙に貼りつけ4つ切サイズにそろえること。

出品方法

- 1 **出品票・出品目録・出品者名簿**を指定の様式に従い出品校で作成し、必ず添付すること。
- 2 出品票は作品裏面右下に天地を正しくして糊付けすること。
- 3 作品は丸めたり折ったりしないで応募すること。
- 4 県内小・中学校を通しての出品となるので、児童・生徒及び保護者から応募の申し出があった場合は、各学校にて対応すること。
- 5 例年三千点を超える応募があり、スムーズな受付事務のためにも**必ず令和4年度版の出品票・出品目録・出品者名簿を使用し正確に記入、締切厳守のこと。**



美術出品目録

都 市	町 村	学校	TEL	FAX	
作品返却について(いずれかに○印を)		返却を希望しません。			
		返却を希望します。(宅配便による着払い) 審査会後(選外作品)、巡回展終了後の <u>2回に分けて</u> 3月予定			
		返却を希望します。(宅配便による着払い) <u>まとめて1回で</u> 3月予定			
		返却を希望します。(3回とも送付先学校に向いて受け取り)			
年	種	絵画	版画	デザイン(平面)	計
1		点	点	点	点
2		点	点	点	点
6		点	点	点	点
計		点	点	点	総計 点

作品返却についてお願い

- 1 盛岡管内の学校は、できるだけ速やかに、送付先学校へ向うての受取りに協力願います。令和4年度の審査会は10月11日(火)開催予定です。
選外作品については、10月13日(木)の盛岡市教研研工美術部会での引取りにご協力願います。
- 2 個票は剥がれないように、確実に糊付けしてください。(毎年、行方不明作品が出るため)

[出品者名簿 兼 審査結果送付票]美術・書写共通 ※部門毎・学年単位で作成のこと

立	学校	TEL	FAX		
住所:					
部門【美術・書写(硬筆)・書写(半紙)・書写(条幅)】 <input type="radio"/> で囲む 年 No.					
No.	氏名(漢字)	題名(美術部門のみ)	種	審査結果(審査会で○を付けます)	返
1				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選	
2				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選	
3				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選	
30				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選	
学年計()点				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選 () () () () () () 作品と同時に送付する入選賞状 () 枚	

岩手芸術祭小・中学校美術展応募校 学校長様 担当者様
今年のご応募、誠にありがとうございました。過日の審査会において入賞・入選作品が決定いたしましたのでお知らせいたします。上記審査結果欄に○印がない場合は選外です。作品が返却になりましたら、返却作品と名簿を照合いただき、記入ミスや枚数違いがないかご確認し、異状ありましたら事務局に連絡願います。
令和4年10月 岩手県小・中学校美術展協会会長

小・中学書写作品応募について

募集する作品

- 1 **種目** 小学校1・2年は硬筆、3年以上は毛筆半紙(国産半紙判)とする。中学校は毛筆半紙か条幅のいずれか一人一点とする。
- 2 **用紙** 硬筆用紙は、岩手県書写書道研究会の書写コンクール硬筆用紙(B5判4ます×8ます:1ます2.5cm)とする。毛筆半紙は国産半紙判、条幅は縦書きとする。
- 3 **課題** 右の通り
- 4 小学校の書体はかい書、中学校の書体はかい書または行書とする。
- 5 毛筆作品の氏名は墨書すること。(表装しない)硬筆・毛筆とも、氏名をひらがなで書いた場合は欄外に漢字氏名を鉛筆で書くこと。学年は書かなくてもよい。
- 6 作品の左上部に校名(○○立○○学校)を記すこと。(ゴム印可)
- 7 作品の裏側右下に出品者名簿の番号を鉛筆で書くこと。
- 8 規格に合わない作品は審査しない。

出品方法

- 1 **出品目録(下記の通り)・出品者名簿(昨年同様に迅速な受付・結果処理のため、書写作品についても出品者名簿を添付すること。様式は美術作品のものと同じ)**を指定の様式に従い出品校で作成し、必ず添付すること。

書写出品目録

郡	町	学校	TEL		
市	村	担当者名	FAX		
年	種	硬筆	半紙	条幅	計
1		点	点	点	点
2		点	点	点	点
6		点	点	点	点
計					総計 点

- 2 県内小・中学校を通しての出品となるので、児童・生徒及び保護者から応募の申し出があった場合は、各学校にて対応すること。
- 3 例年三千点を超える応募があり、スムーズな受付事務のためにも**必ず令和4年度版の出品目録・出品者名簿を使用し正確に記入、締切厳守のこと。**

小1年硬筆課題

市町村団体名	べま と	一年硬筆	
	ま わ き お		
	し り な		
	た の コ か		
名まえ	。 た ン が		
	ね は す		
	を い		
	た ひ た		

小2年硬筆課題

市町村団体名	目 パ フ	二年硬筆	
	玉 ン の く		
	や と 朝 ま		
	きは ぎ の		
名まえ	で ち は 子		
	す み ん の		
	。 つ は ウ		
	と い		

小3～中3年毛筆課題

	半紙課題	半紙課題	条幅課題
小3	下	中1	実現 青雲の志
小4	小麦	中2	感謝 大志を抱く
小5	成長	中3	美しい自然 真理の追究
小6	銀河		